

AKITA INTERNATIONAL UNIVERSITY 2026-2027



Be a Global Leader!
with AIU SPIRIT!

〒010-1292
秋田県秋田市雄和椿川字奥椿岱
TEL: 018-886-5900(代)
FAX: 018-886-5910

E-MAIL: info@aiu.ac.jp
URL: <https://web.aiu.ac.jp/>

CONTENTS

国際教養大学 2026-2027

01 国際教養大学の教学理念／
ミッションステートメント／
求める学生像／
AIU Core Values

02 学長メッセージ

04 応用国際教養教育【AILA】

06 My AILA Model ―それぞれのロードマップ

12 他大学と連携した研究プロジェクト／
国際協働課題解決型プロジェクト／
産学連携による課題解決プログラム／
新・国際開発協力：開発金融からのアプローチ

13 テーマ別ハウス／
教育連携活動／
学生の多彩な活動

16 中嶋記念図書館

18 能動的学修センター（ALC）

20 数字が語る！ AIUの独自性

22 AIUだけの教育システム 5つの特長

24 **FEATURE 01**
すべて英語の少人数授業

26 英語集中プログラム(EAP)

28 グローバル・ビジネス領域 (GB)

30 グローバル・スタディズ領域 (GS)

32 グローバル・コネクティビティ領域 (GC)

34 教職課程

35 日本研究プログラム／日本語プログラム

36 科目一覧

40 教員紹介

44 **FEATURE 02**
1年間の留学義務

46 提携大学一覧

48 留学先からのメッセージ

50 **FEATURE 03**
多文化共生のキャンパスライフ

52 学生寮(こまち寮)／学生宿舍

54 学生活動／学生生活Q&A

56 **FEATURE 04**
多彩な可能性を広げる進路選択支援

58 就職実績／社会で活躍する先輩たち

60 大学院進学支援

64 国際教養大学 専門職大学院

66 **FEATURE 05**
多様な人材を発掘する入試制度

67 新入生の声

68 入試制度一覧

72 学費

73 奨学金

74 沿革／ガバナンス

75 大学公式ウェブサイト・公式SNSアカウント／
交通アクセス

76 キャンパスマップ

裏表紙



「これまでの日本になかった、世界基準の大学をつくらう」
2004年の開学時に掲げたこの精神は、
今も国際教養大学のキャンパスに生きています。

すべて英語で開講される授業
それに必要な高度な英語力の獲得
大量に課される課題
真剣に学ばなければ進級や卒業が難しい厳格な成績評価
世界の大学に1年間の留学義務
そして、多様な文化的背景を持つ留学生との共同生活――

ここでしか経験できない数多くのチャレンジの積み重ねが
世界とあなた自身の未来を切り開く力を育てます。

世界のどこでも 発揮できる本物の力を

国際教養大学
ミッションステートメント

国際教養大学は、「国際教養教育」を教学理念に掲げ、グローバル社会におけるリーダーを育成することを使命とする。
国際教養教育は、世界の広範な事象に関する幅広い知識と深い理解、物事の本質を見抜く洞察力や思考力、これらの上に
築かれたグローバルな視野とともに、英語をはじめとする外国語の卓越したコミュニケーション能力を涵養する。
国際教養教育を受けた者は、確固たる「個」を確立し、道義心の修養を通じて開かれた高潔な精神と情熱を持って時代の
諸課題に立ち向かい、自らが暮らす地域や所属する国家のみならず広く人類社会に貢献する。

求める学生像

国際教養大学は、その理念に共感する次のような学生を求めています。

主体的に学ぶ意欲が強く、鋭い問題意識を持つ学生であって、

社会科学、人文科学、自然科学の広い分野について均衡のとれた基礎学力、論理的、批判的、創造的な思考力を身に付けた
学生あるいは特定分野について卓越した経験や能力を有しながらより広い分野について学修を深めようとする意欲を持つ学生

海外での学修経験や諸活動への参加経験、国内での国際交流事業などに積極的参加を経験するなど世界の多様な文化、
言語、歴史、社会などの国際関係について強い関心と探求心を持つ学生

国際社会を舞台に活躍できるような実践的な外国語運用能力(特に英語)と、幅広い教養の修得を志す学生

AIU Core Values

2024年4月に、AIUがこれまで大切にしてきた「他者を尊重する」というコミュニティの基盤としてあるべき3つの意識を言語化し、
「AIU Core Values」として明文化しました。今後、この3つのメッセージが有機的につながる活動、取り組みを学生・教職員と
ともに展開していきます。

Embracing Diversity
(ダイバーシティと共に歩む)

Advancing Mutual Growth
(互いに高め合う)

Creating Value Together
(共に価値を創造する)

創造的 不変的 価値 挑戦 時代の

Global Challenges Timeless Values Our Responses

学長メッセージ Message from the President

現代の人間社会、自然社会は間違いなく歴史上の大きな転換点を迎えています。戦争や紛争、AI(人工知能)の急速な進歩、異常気象の発生、日本においては特に急速に進む少子高齢化により、従来の社会システムの構造や文化さえも変わりつつあります。

このような局面で最優先事項として取り組むべきことは人への投資、つまり人材育成に本気で取り組むことです。この混沌とした社会の諸課題に主体的に取り組む情熱を持ち、世界のパートナーと協働できる人材を日本から輩出することです。

国際教養大学(AIU)は2004年の開学以来、グローバルリーダーの育成をミッションとして、世界に通用するリベラルアーツ教育を展開してきた一方で、社会情勢とともに、大学も変化・発展して参りました。

2021年からは、学内外のフィールドにおいて知(知ること)と行(行うこと)を一体化することで得られる学際的な「統合知」と、留学を含め変化する環境下で直面する困難を一つずつ乗り越えていくことで得られる「人間力」を段階的に身に付けていく、「応用国際教養教育」を導入し、リベラルアーツ教育を一步前に進めてきました。

本学で実施しているCLA+のスコアを分析し学修到達度の検証を行ったところ、卒業時には学生の英語の文章構成力、論理的思考力、データ分析・問題解決力が、アメリカで学ぶ学生と同等かそれ以上に達しているとの結果が出ており、その結果はまさに本学のリベラルアーツ教育が世界標準に達してきている証だと考えています。

また、「COI-NEXT」と「J-PEAKS」という国の大型補助金事業に参画し、学生と教員が協働研究できる場を増やしています。秋田県が抱える8つの課題(健康、モビリティ、森林、気象リスク、データサイエンス、民俗芸能、共存共栄、再生可能エネルギー)と、10年、20年先の未来社会にますます浸透してくるであろう宇宙、量子、AIなどについて、リベラルアーツ的な切り口から教育・研究を進めていく予定です。

この体系的、段階的、そして先進的な学修と、人間形成を支える自然や友愛にあふれるキャンパス環境、200を超える海外提携校との強い協力関係を持ち、秋田のあたたかな地域社会に支えられている本学は、世界でも極めて稀有な存在であると自負しています。

本学のリベラルアーツ教育の土台があれば、どんな世界にも挑戦していける、どんな夢も描いていける、学生一人ひとりが自分自身を信じてグローバル社会に羽ばたいていくーそんな未来を本学は描き続けています。

モンテ・カセム

公立大学法人 国際教養大学 理事長・学長

Monte CASSIM

1947年スリランカ生まれ。スリランカ大学卒業後、1972年来日。東京大学大学院で都市工学を学び、三井建設、国際連合地域開発センターなどを経て1994年立命館大学教授に就任。立命館アジア太平洋大学学長、学校法人立命館副総長、大学院大学至善館学長を歴任。2016年瑞宝中綬章を受章。2017年スリランカ政府より国民英雄(Vidya Nidhi)の称号を授与された。専門は環境とライフサイエンス。2021年6月から本学理事長・学長。

国際社会に貢献できる 人材育成を目指して

「国際教養教育」という教育理念を掲げ、グローバル時代に対応した人材育成を目指す国際教養大学に、各界の皆様からメッセージが寄せられています。



1957年日本人初の国連職員
以後、数多くの
重要な国際問題に取り組む

明石 康さん 明石 康
元国際連合事務次長
Dr. Yasushi AKASHI

グローバル化時代は、異なる民族や文化に属する人たちが、互いのアイデンティティを自覚しつつ、寛容の精神や相互理解を育む時代です。国籍やバックグラウンドの違う人たちと協力して仕事を組み立てられる人が求められています。広い国際的視野を持ち、真の教養と語学力を身に付けられる大学が私の郷里に創設され発展していることは喜ばしいことです。



豊かな国際感覚で活躍する
日本のオピニオン・リーダー

大宅 映子さん 大宅 映子
評論家
公益財団法人 大宅壮一文庫 理事長
Ms. Eiko OHYA

これからの日本を考えた時、世界の中で堂々と渡り合える人間をどれだけ増やせるか、が重要です。英語という言葉は単なるツールであって、自分が主張したいことが先になくはいけません。これが教養であり常識です。英語を勉強の目的ではなく、ツールとして使い、本気で勉学に励んでいる学生さんたちの未来は明るい、と確信しています。



貿易国日本を物流で支える
グローバルリーダー

長澤 仁志さん 長澤 仁志
日本郵船株式会社
取締役会長
Mr. Hitoshi NAGASAWA

グローバル化や情報通信技術の発展によって相互が複雑に絡み合い急速に変化し続けるこれからの国際社会において、その中心にあるのは間違いなく人であり、将来を力強く切り拓くのが個々の人間力であることは昔も今も変わりません。皆さんの学生生活におけるさまざまな挑戦を通じ、外部環境の変化に動じることのない普遍的な力を身につけていかれることを願っています。



A Leading Commentator on
East Asian Affairs

トマス・ゴールドさん
東アジア学の第一人者
カリフォルニア大学
バークレー校 名誉教授
Dr. Thomas GOLD

I have watched AIU grow from a vision to a thriving and dynamic global university in every sense of the word. Its international faculty prepares students not only to use English at a professional level, but also to become truly global citizens through the unique opportunity to study at one of over 200 partner institutions overseas. AIU is challenging other universities in Japan to globalize as well, thereby helping the nation better meet the challenges of the 21st century.

※役職は2025年4月1日時点

応用国際教養教育【AILA®】

※AILAは国際教養大学の登録商標です。

Applied International Liberal Arts

統合知と人間力を兼ね備えた グローバルリーダー育成のために

国際教養大学はこれからの社会で求められるグローバルリーダー像を「知力と人格に優れ、責任感と情熱を持って世界の舞台で行動できる人間」と定義しています。その実現に向けた本学独自の教育のしくみとして、応用国際教養教育【AILA】を導入。知の統合と人間力を両輪として育むのがAILAです。



グローバルリーダーに必要な「知」と「力」

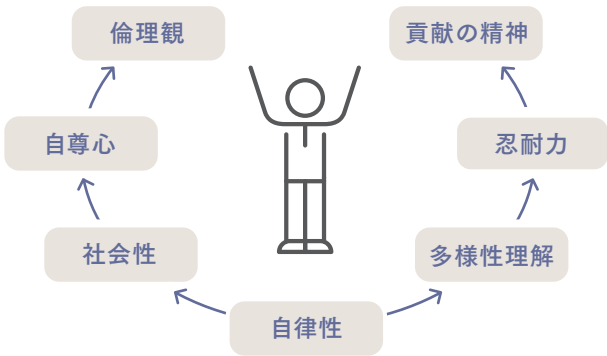
▶ 統合知 多彩な知識体系を掛け合わせて問題解決を図る力

さまざまな領域にわたる広範な知識体系を身につけ、状況に応じてそれらの知識を関連付けながら応用し、最適解を導き出す力。この力を「統合知」と呼びます。



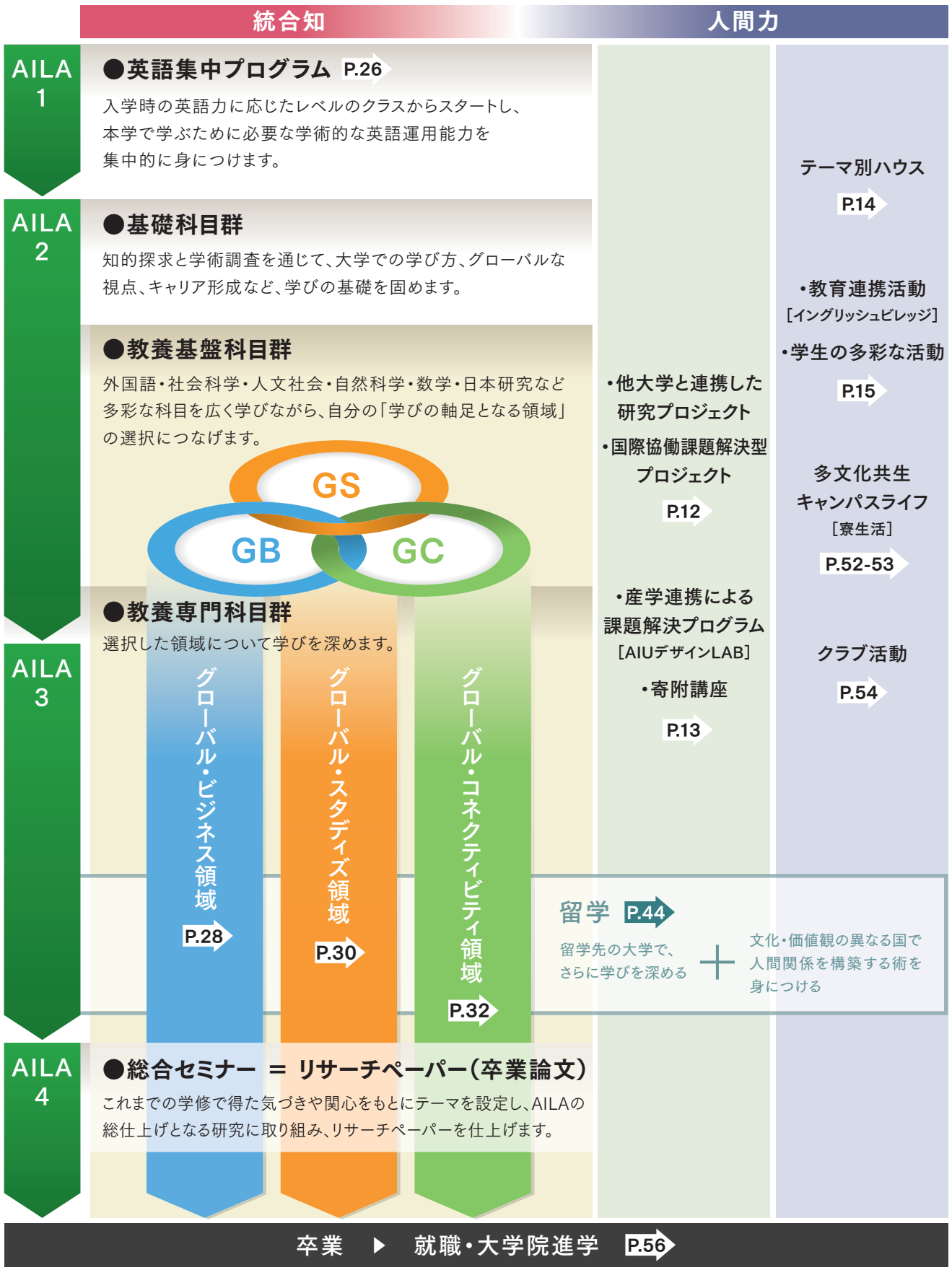
▶ 人間力 人々を巻き込み、統合知を社会で実現する力

統合知をグローバル社会で活かすために欠かせないのは人間力です。確固とした「個」を備えつつ、自分とは異なる価値観を認め、粘り強く合意形成する力。そしてより良い社会をつくるために全力をつくすという決意。こうした「人間力」は、人から教わるものではなく、本学での経験や環境によって育まれます。



学びのロードマップ

自身の興味・関心を深めて知識を体系化させていく学び、実社会での実践、そして多様な価値観の中で共生・協働する多彩な経験。これらを自分なりに組み立て実行していく中で、「統合知」と「人間力」を育みます。



マーケティングの学びと、
ラグビーの経験が
自分を成長させた。

高校時代にインドネシア人を雇用する宮城県の水産加工会社を取材したのがきっかけでグローバルビジネスに関心が芽生え、AIUに入学しました。国際ビジネスの授業で行ったグループワークは、自分以外のメンバー6人が全員留学生。多様なバックグラウンドを持つ彼らと海外製品の販売戦略を議論する中で、消費者行動や意識の国家間の違いを実感しグローバルマーケティングの面白さに目覚めました。

留学したアメリカ・コロラド大学ボルダー校では、メンタープログラムで現地の営業マンから毎週マンツーマンでセールスの理論と実践についてお話を伺ったことが印象に残っています。コロラド大学ラグビー部に入学し、当初はフィジカルの差に圧倒されました。しかし戦術に長けた日本ラグビーの強みを活かし、サインプレーを考えて発信する中で活躍の場が広がりました。また、「明るく、素直に、一生懸命」ラグビーと現地の仲間と向き合うことで、信頼関係構築にも力を入れました。結果、スターティングメンバーに選ばれ多くの友人にも恵まれるなど、ラグビーを通してより充実した留学生活となりました。これらの経験から「世界を舞台にチームワークと信頼で物事を成し遂げたい」「日本の水産業に貢献して地元で恩返しをしたい」という将来像が明確になりました。

佐藤 快晴さん
宮城県／2022年入学
Kaisei SATO



GB
01 My AILA Model

—それぞれのロードマップ



高校時代に
地元の水産業活性化に注目

地元の水産加工会社でインドネシア人の雇用について取材。日本および地元の水産業活性化のヒントを探る。

AIU入学

優秀で主体的な同期と明確な目標がなかった自分を比較して自尊心が低下。大学から始めたラグビーに目標を見だし、体づくりと練習に励む。



ビジネスの面白さに目覚める

国際ビジネスの授業でグローバルマーケティングに関心を持ち、目指す方向を見つける。



強みを生かし打開する力を
留学先で自分のものにする！

マーケティングを専門的に学べるコロラド大学で、アメリカビジネスの最前線で日本製品を販売する営業マンから「国際ビジネスの要である信頼関係構築の大切さ」を学ぶ。コロラド大学ラグビー部では、日本らしい「チーム力」を取り入れた戦略提案で、スターティングメンバーに抜擢。



リサーチペーパーは、
日本の水産物の
販路拡大につながるテーマ

「日本の水産物を海外に売るにはどうしたらよいか？」を見つけるため、「アジア主要国における魚介類消費の決定要因分析：7カ国の国際比較」をテーマに設定。



信頼関係を構築できる
国際的なビジネスマンに

総合商社に就職。チームワークと信頼を大切に、ビジネスマンとして研鑽して、日本の水産物の販路拡大を目指す。

GB
02



中学時代、AIUに出会う！

ホテルマンに興味を持つ。先生に勧められAIUのオープンキャンパスに参加。



就きたい職業が変わった高校時代

ホテルマンの労働環境改善の必要性に着目。目標がコンサルタントに変わる。



スイス留学を実現
コンサルプロジェクトを体験

東スイス応用科学大学に留学。留学生自体が少なく、日本人は1人だけ。AIUの時のように積極的に話せない…。しかし徐々に適応し、プロジェクトでは日本人らしい「協調性」あるリーダーシップを発揮！



GBの知識と教職課程の知識が
融合する道筋が見えた

留学先での「SDGs教育を広めるNPO法人」プロジェクトで知識の融合を体得。



目指すは「教員の労働環境を
改善するコンサルタント」

道筋が見えた留学中に、大手総合コンサルティングファームに就職を決める。



教員の労働環境改善への
糸口を探るリサーチペーパー

リサーチペーパーのテーマは教育と労働環境に関する関心から「日本の義務教育における教員採用試験の倍率低下の要因」に設定。

コンサルティングと教育
2つの関心領域が導いた
未来への道。

高校時代にコンサルティングの仕事に関心を持ち、AIUではグローバルビジネス領域を中心に学びました。同時に教育分野にも興味が湧き、教職課程を履修しました。AIUの教職課程は、教員志望に限らず教育に関心を持つ学生が多く学んでいます。教育現場でのICTの活用などを議論する中で、教育をよくするためには教員の資質・能力向上や労働環境の改善が必要だと考えるようになりました。

コンサルティングを実践的に学ぶために留学先に選んだスイスでは、多国籍の学生とチームを組み企業や組織のコンサルティングを実践するプロジェクトに参加しました。「SDGs教育を広めるNPO法人の地域進出の戦略立案」に参加したときは、AIUで学んだ知識が大いに役立ちました。当初はメンバーの積極性に圧倒されることもありましたが、サブリーダー的な役割を担ってチーム内のコミュニケーションを円滑にするなど、自分の強みを活かして大きな自信になりました。2つの分野を学ぶ中で見いだしたのが「コンサルティングの力で日本の教育を変える」という目標。教育分野で日本の未来を明るくしていきたいです。

宇野 日空杜さん
東京都／2022年入学
Hyuto UNO



英語の学びと台湾留学
自分の限界を超えて
可能性を広げた。

英作文Ⅱの授業で、当時履修していた国際協力・開発論Ⅰと政治学を組み合わせ、日本のODA政策と世論の乖離について調査しました。調査を通じて、国際援助を行ってきたアジアの国々から日本はどう思われているのだろうかという視点に興味を持ち始めました。そこで高校時代から関心のあった台湾を留学先に選び、台湾の視点から政治や外交政策、国際開発を学びました。中国との歴史的な関わりによって台湾の中にも多様な立場や意見があることを実感するとともに、台湾の高度な半導体技術が安全保障につながるなど、経済活動と外交政策の密接な関わりについて理解を深めました。総合セミナーのリサーチペーパーでは、台湾の投票制度について学生団体にインタビューを行い、その背景を調査しました。それは単なる投票制度に留まらず、台湾の政治環境やアイデンティティと結びついていると実感しました。

入学後は「自分の限界に達している」と思う瞬間が何度もありましたが、「ここで負けれない」と失敗を恐れず経験を積み重ねるうちに、徐々に自信ができました。留学や就職活動など高いハードルを前にするたびに「生き抜いた先に強い自分がある」と信じて限界に挑んだ結果、強さを獲得し可能性が大きく広がったと思います。

塚本 華さん
大阪府／2022年入学
Hana TSUKAMOTO



GS
01 My AILA Model

—それぞれのロードマップ



ほろ苦い中学時代のホームステイ
英語を上手く話せず悔しかった。その悔しさをバネに、英語学習に力を入れ、英語をツールにして海外で学びたいと思うようになった。

AIU入学

英語漬けの日々。
人前で失敗してしまうことを恐れ、周りと比べ劣等感にさいなまれることも。でも、「ここで負けれない!」と怖がらずにぶつかって、失敗も含めて経験を重ねながら、少しずつ自分の気持ちを強くしていく。



政治学と国際協力・開発論を
掛け合わせた視点から
アジアを学ぶ面白さを見いだす
身近な国であるはずのアジア諸国についてよく知らないことに気づく。



興味深い隣国台湾で
多角的な視点を身につける
国立台湾大学に留学。台湾の内側から、歴史・政治を深く学び、その複雑さに興味が高まる。
台湾半導体産業の歴史・政策の学びから日本半導体産業の栄枯盛衰を知る。



学びの集大成となる
テーマに取り組む
「なぜ台湾の成熟した民主主義に不在者投票制度は存在しないのか：分極化社会における若者の制約認識」をテーマにリサーチペーパーを執筆。



世界の第一線から退いている
日本のものづくり産業を力づけたい
「素材」というもののづくりの上流でイノベーションを起こすことで、日本のものづくり産業全体に大きな影響を与えることを目指し、大手セラミックメーカーに就職。

GS
02



印象的だったAIUとの出会い
中学生時代に観たテレビ番組をきっかけにAIUを知る。

海外で仕事をしたい！

コロナ禍の在宅勤務時に海外のスタッフと英語で仕事をする父の姿に憧れを抱く。

AIU入学

引っ込み思案な性格なうえ、使いこなせていない英語で自分の意見を求められる授業に苦戦。そこであえて人前で話すことの多い「イングリッシュビレッジ」に参加して弱点を克服。その後「AIU祭実行委員会」にも参加。



地元やAIUとは真逆の環境へ
イギリスの都会にある総合大学のリーズ大学に留学。地理学を中心に学び、地政学的・ビジネス視点での地域の見方や開発方法を知る。



日本とは勝手が違う仲間づくり
外国人ばかりの中で自発的に話しかけることに躊躇。状況打破のため、留学先でドッジボールクラブに入って交流の輪を広げた。



イギリスで得た
新たな視点を生かした
リサーチペーパーに取り組む
テーマは「農村の表象：日本における移住の意思決定と移住後の経験」
地方に移住したものの都会に戻ってしまう事例の要因を探る。



社会の基盤を支える素材業界で
日本のプレゼンスをアップする
さまざまな製品に影響を与える「素材」を扱うグローバルなメーカーを中心に就活。大手化学メーカーに就職。

ヨーロッパと秋田
グローバルの視点で
ローカルを知る。

茨城県の過疎化が進む地域で育ち、子どもの減少を目の当たりにした経験から地域開発に関心を抱きました。AIUの地域発展論の授業では、秋田県五城目町で閉校した小学校の利活用に取り組みました。地域の人々に話を伺う中で、地域活性化に万能なソリューションはなく、地域の特性に応じた対策が不可欠であることを知りました。

留学先のイギリス・リーズ大学では、地理学のコースを専攻しました。地理学の視点でスーパーマーケットの出店候補地を考えるマーケティングの授業など、大いに刺激を受けました。また夏期休暇中にチェコの人里離れた一軒家でホームステイをした経験は、「田舎は近隣住民とのつながりが強い」という先入観を大きく覆しました。都会でありながら親密な雰囲気があるリーズでの生活と対比して、都市の規模だけで推し量ることができない暮らしの多様性を肌で感じました。卒業研究では都会から秋田に移住した人々の移住に対するイメージの変化を調査。農村社会学の授業でイギリスやヨーロッパの事例を学んで理解を深め、グローバルな視点からローカルの課題を探究することができました。

笹森 菜那さん
茨城県／2022年入学
Nana SASAMORI



留学先で出会った
未来を想像し
現在を創造するデザイン手法。

「新しいテクノロジーってなんだかワクワクする」そんな気持ちでプログラミングや科学技術に関する授業を履修。スマホやPCを一切使わない「アナログDay」の実践やさまざまなグループプロジェクトを通して、デジタル時代における人々の学びやコミュニケーションのあり方に深く関心を向けるようになりました。

学びの軸を模索する中、留学先で学んだ「スペキュラティブ・デザイン」が、発想の枠を大きく広げました。未来の可能性をデザインし、現代社会の価値や態度に疑問を投げかける思考法。授業では、その思考法を用いて、国籍の異なる4人のチームでプロジェクト活動に取り組みました。科学技術と人間の未来を柔軟に思考し社会に落とし込むという、まさに求めている学びと体験でした。

総合セミナーでは、「若者のスマホ・SNS依存」という課題に対して、スペキュラティブ・デザインを用いてディスカッションを行うワークショップを実施。さらに研究を深めるため、翌学期には自主研究として高校生対象のプロジェクトを行いました。卒業後もこの学びを活かし、テクノロジーと人間の未来を創造する人材を目指します。

古 莊 恵 さん
福岡県／2022年入学
Megumi FURUSHO



GC
01 My AILA Model

—それぞれのロードマップ



地元開催の
グローバルキャンプに参加

多様な意見や外国語が飛び交う環境、高い志を持つ同世代の仲間との共同生活に居心地の良さと没入感を見出し、AIUへの進学を考え始める。

AIU入学

多様な背景と強みを持つ同期や留学生から刺激を受け、興味と視野が広がっていくのを実感。



デジタルテクノロジー関連の
科目に興味を持つ

人文科学の視点からテクノロジーやデジタル社会を考察する科目に惹かれ、GC領域を選択。並行して教職課程も履修。テクノロジーが現代社会や教育へ与える影響についてもっと掘り下げたくなった。



教育大国であり
デジタル先進国のデンマークへ

デンマークのオーフス大学に留学。あらゆる場面でデジタル化が進み留学生の各種手続きは、ほぼオンライン。大学でスペキュラティブ・デザインに出会いテクノロジーの未来を学ぶ一方、現地での生活や人々との交流を通して豊かさや学びの本質への理解を日々アップデート。



科学技術、教育、
スペキュラティブ・デザインの融合！

総合セミナーのリーサーチペーパーは「スマートフォンとソーシャルメディアのよりよい利用を実現する手法としてのスペキュラティブ・デザイン」をテーマに執筆。



自分がワクワクする
テクノロジーと体験の創造に
関わりたい

テクノロジーに関する製品・コンテンツを多角的かつグローバルに展開する電機メーカーに就職。

GC
02



将来の見通しがつかず
路頭に迷った受験生時代

頑張っても勉強しても、将来に対して漠然とした不安を感じながら、進学先に迷う中、先生からAIUを勧められる。

AIU入学

EAPの英語漬けに悪戦苦闘。英語だけの授業・調べる・書く・議論にまみれ、思うようにできない自分に苦しんだ。それでもくじけず頑張り、出会った「バイリンガルとは何か？」という問い。



問いをキッカケに広がった
学びへの興味

もともと興味のあった心理学に加え、言語学・教育学へと興味が広がり、学びが楽しくなった。



言語心理学が学べる
キプロス・ニコシア大学に留学

「人間はどのようにして言語を習得しているのか...。」原理的に解明する授業が興味深かった。



誰もが母語並みに英語を話す
キプロスの教育環境って？

多くの人が、母語ではない英語を普通に話せるキプロスの教育制度における質の高さに関心が高まる。

心理学と言語学を融合させた
リサーチペーパーに挑戦

「英語圏の文化認識が日本人英語話者の英語発話時の性格に与える影響」を執筆。英語を話す時と日本語を話す時で、性格に差異があるという仮説を確かめる調査を実施した。



海外の教育現場を体験し
日本の教育の質向上に
貢献したい

海外の大学院に進学し、現地の小学校教員の資格取得を目標としている。現地の小学校で教員として働いた後、日本の教育現場で働きたいと考えている。

英語コミュニケーションの
葛藤と克服から
教育学を学ぶ道へ。

「バイリンガルとは何でしょうか」——グローバルコミュニケーションの授業で先生が投げかけた問いは、私の4年間の学びに大きな影響を与えました。バイリンガルの定義は思いのほか曖昧で、言語力のレベルも幅広く、学校や家庭の内と外で言語を使い分けるなど世界中に多様な形があることを知りました。

入学後の英語集中プログラム(EAP)では、大きな葛藤と克服を経験しました。クラスには英語を流暢に話す学生もあり、英語力や批判的思考力、発想の豊かさを他人と比較し劣等感に悩まされたこともあります。しかし、わからないときは率直にサポートを求め、人の意見に質問したり話を広げたりするなど工夫する中で、「問う」ことで議論を広げるという自分の強みを見いだしました。「コミュニケーションのゴールは単にネイティブのような言語力を習得することではない」という気づきとともに、日本の英語教育や言語心理学、教育分野へと関心が広がりました。卒業後は海外の大学院で教育学を学び、現地の小学校教員として経験を積みたいと考えています。そして海外で得た知見を日本の教育に活かすことが将来の目標です。

深 津 美 晴 さん
神奈川県／2022年入学
Miharu FUKATSU



他大学と連携した研究プロジェクト



持続可能な社会変革(SX)を目指す

J-PEAKSプロジェクト

長岡技術科学大学が採択を受けた「J-PEAKS(地域中核・特色ある研究大学強化促進事業)」に連携大学として参画し、研究を通じて社会変革を生み出すことを目指しています。本学では、秋田の地域課題に基づいて「Mobility」「Health」「DX/Data Science」等の研究ユニットを立ち上げ、学生のリサーチ・アシスタントと教員が協働でプロジェクトを推進しています。

2025年度には「L-LABスペース」を新設。3Dプリンターやレーザーカッター等の機材を自由に使いながら、研究から生まれたアイデアをモノ・かたちへ具現化できる環境を整備しました。専門家によるワークショップを経て、社会実装の事例が誕生することを期待しています。



「豊かな暮らし」を追及する

秋田COI-NEXT ソウゾウの森プロジェクト

秋田の公立3大学(秋田県立大学、秋田公立美術大学、本学)が中心になって展開するプロジェクト。森林資源の活用研究と産学官連携による人材育成を通じて、秋田の「自律的な豊かさの実現」を目指すものです。本学はリベラルアーツの観点から「里山を含む中山間地域における価値創造」および「森を活用した地域企業家の育成」に取り組んでいます。

年6回ほど開催する「ソウゾウの森会議」には学生も積極的に参加し、地域や企業の方々、他大学の教員、本学の卒業生らと共にディスカッションやフィールドワークを実施。秋田という風土での暮らし方、働き方について学びを深めています。

国際協働課題解決型プロジェクト(科目)

水野 智仁 教授 Dr. Norihito MIZUNO(事業推進責任者)

ASEAN地域の提携校との国際協働PBLを実施しています。国内外での講義、フィールドワーク、発表・討論、レポート作成を通して、各地域に関連した課題解決に取り組みます。この経験を通して分析力・考察力を養うとともに、チームで課題解決に取り組む能力の獲得を目指します。過去には、秋田県とタイ東北部における持続的な地域発展の可能性を探るPBLなどを実施しました。



産学連携による課題解決プログラム

動画で見る



AIUデザインLAB

基礎編として、課題解決に有効な手法である「デザイン思考」を企業の方と共に学び、応用編として、課題解決のためのビジネスアイデアを創出する「LAB2:事業創造プロジェクト」、または企業の現場で課題解決を目指す「LAB3:秋田県内企業課題解決型学修」から選択して実践に取り組みます。学生の課題解決能力の向上に加え、企業との協働を通じて地域の活性化にもチャレンジしています。

LAB1 デザイン思考ワークショップ

課題解決に取り組むうえで必要となる思考プロセスや着眼点を修得するためのワークショップ。県内企業の方を招いて、提示されるテーマに基づき、次のステップに沿って共に学びます。

- ①共感・理解
- ②問題提起
- ③アイデア創造
- ④プロトタイプ
- ⑤テスト



アイデアを掘り下げたい

現場で実践したい

LAB2 デザイン思考実践： 事業創造プロジェクト

それぞれのチームが課題を持ち寄り、課題解決に向けたビジネスアイデアの創造を行います。県内企業の方がメンターとなり、収支計画の立て方も学びながら実現可能なアイデアとして掘り下げ、ビジネスコンテストなどに挑戦します。



LAB3 デザイン思考実践： 秋田県内企業課題解決型学修

LAB1で身につけたデザイン思考を用いて、企業の現場で実践活動に取り組みます。数カ月間企業に身を置き、社員の方のサポートを受けながら、提示された命題に基づいて実際の課題解決にチャレンジします。

- ▶活動例 JR東日本秋田支社
- ▶テーマ 秋田や津軽の地域を元気に！
地域課題の解決に向けて、観光戦略や二次交通整備に挑もう！

【内容】

観光振興

秋田駅でのワイン試飲イベントの企画・運営、プレスリリースや広告を通じた集客、東京都町田市での観光キャンペーンや県内各地のイベント運営補助



二次交通整備

オンデマンド交通「よぶのる角館」について利用者データ分析、学生アンケートに基づく改善提案・Web広告・他地域事例の調査

寄附講座(砂川眞寄附講座)

新・国際開発協力:開発金融からのアプローチ

「新・国際開発協力:開発金融からのアプローチ(砂川眞寄附講座)」は、国際開発金融の分野で長年活躍されてきた本学客員教授の砂川眞氏からの寄附により設置された、AIU独自の講座です。国際協力の枠組みが大きく変化するなか、SDGs時代の課題解決に不可欠となる多様な資金メカニズムを体系的に学ぶことを目的としています。

本講座の最大の特長は、オムニバス形式による実務家講義にあります。毎週、開発金融の第一線で活躍する実務家を招へいし、インフラ投資、環境・気候金融、ジェンダー投資、国際開発機関の業務、民間資金の動員など幅広いテーマを取り上げます。

政府系金融機関、開発コンサルタント、海外進出企業や商社の実務担

当者など、多様なバックグラウンドを持つ講師陣が実務に根ざした視座を提供する点が、研究者中心の従来型講義とは大きく異なります。

講義では、国際機関の役割やさまざまな開発金融制度の理解を基盤にケース分析を行い、複雑な課題の本質を見極め、解決の道筋を構想する力を育てます。さらに、各回の課題に取り組むことで、実務家の視点を自身の問題意識と照らし合わせ、論点を整理しつつ批判的に考える姿勢を養います。

砂川氏の広範な実務家ネットワークとそれを支えるご寄附により実現した本講座は、AIUが目指す「社会に開かれた教育」を体現した取り組みです。

テーマ別ハウス®

※テーマ別ハウスは国際教養大学の登録商標です。

ウェブサイト
で
テーマ別ハウスの活動
を詳しく紹介しています。



「テーマ別ハウス」とは、同じテーマに関心を持つ学生たちが同じ学生宿舎に入居し、1学期間にわたって共同生活しながらさまざまな活動を行うものです。学生が発案したテーマのもとに仲間が集い、テーマに沿ったイベントを企画・運営します。この取り組みは、キャンパス内での生活もリベラルアーツ教育の一環と捉え、自分の力を絶えず高めていくことを目的としています。

テーマ別ハウス 活動の流れ (春学期の例)	4月	全体集会(Student Assembly)にて、各ハウスが春学期の活動計画を報告。	
	4～7月	各ハウスのテーマに沿って活動。	
	6月	テーマ別ハウスフェアを開催。秋学期のメンバー募集のための活動紹介と、新たなテーマ*に取り組みたい学生によるプレゼンテーション。	
	7月	学期末の学期活動報告会にて、ポスタープレゼンテーションを実施。各ハウスでリーダーシップを発揮した学生は「Leadership Award」で表彰されます。	

※テーマ別ハウスの設立には、専任教員によるアドバイザーと最低6名のメンバーの応募が必要です。設立が決まると活動資金の援助が受けられます。

代表的なテーマ別ハウス

日本語ハウス

日本人学生と留学生が日々日本語で会話をするにより、異文化理解を深め、異文化コミュニケーションに対する柔軟な態度を養うことを目的としています。地域の方々とのワークショップ、日本語や日本文化に関わる各種アトラクションを企画・開催しています。

ウェルビーイングハウス

学生の身体的・心理的・社会的な健康状態を高めることを目的としています。ヨガや瞑想、心理学・神経科学、ストレス&エネルギーマネジメントに関するワークショップを通して、学内外のコミュニティと学びを共有し、人々の幸福の向上に積極的に貢献できる人になることもねらいの一つです。

事例紹介

Happy Monday

Happy Mondayは毎月第4月曜日に行っている全学生向けの日本語会話テーブルです。毎回テーマを決め、集ったメンバー全員が日本語でテーマについて語り合います。「もし無人島に行くなら？」などユニークなテーマが設定され、いつも盛り上がります。



事例紹介

ヨガ

1学期に講師を招いた3回のヨガセッションを開催。ヨガは身体の柔軟性やバランスを高め、日常生活の疲れやストレスを和らげる効果があり、参加者は心身ともにリラックスした時間を過ごしています。その中で交流は、穏やかな雰囲気の中でお互いにリフレッシュにもなります。



2026年度に活動するテーマ別ハウス

秋田つむぐハウス

人と自然の関わりを軸に、学生の学びと体験を通して秋田の魅力を表現し、地域とのつながりを紡ぐハウスです。

ビブリオハウス

読書や物語をテーマに、日常と活動の中で交流と学びを楽しみます。

ブックハウス

読書が苦手でも楽しめる場をつくり、学内に読書文化を広げるハウスです。

食ハウス

料理を「作り合い、語り合う」ことで、自分と他者の文化を知るハウスです。

ジェンダー学ハウス

ジェンダーやSOGIEへの理解を深め、多様性について話し合い、認め合うことを目指すハウスです。

多言語学習ハウス

レクチャーやイベントを通して本学では学ばない言語にも触れ、言語学習の側面からリベラルアーツを学びます。

教育連携活動

本学では、独自の教育手法や学際的な国際教養教育の強みを活かして、教育連携活動を積極的に展開しています。こうした大学の連携活動に学生たちも主体的に参加し、自身の強みを発揮し新たな学びを得ながら、地域貢献の一翼を担っています。

日本の英語教育改革に向けた教育連携活動

イングリッシュビレッジ

動画で見る

AIUは、中高生を対象に「英語を英語で学ぶ」イングリッシュビレッジプログラムを2泊3日で開催し、英語教育支援に取り組んでいます。プログラムの最終課題は「英語でプレゼンテーション」。最初はなかなか英語で話すのが難しくても、小さな成功体験を積み重ねていくことで、最後のプレゼンテーションへと導きます。

このプログラムで講師をするのは、本学の学生(大学院生、学部生、留学生)たちです。事前に教員からトレーニングを受け、教材の作成やレクチャーの練習を積み重ね、入念な準備をしますが、多様な中高生を相手にすると想定外なことも起こります。そんな時は、これまでに培った知識や経験、対話を通じて最適な対応を見つけ出し、一人ひとり丁寧に対応することで、学生たち自身も大学の授業だけでは得られない気づきを得て、自律的かつ能動的に成長をしています。同時に、全国から参加している中高生は、国際教養大学というグローバルな環境での新しい英語学習を楽しんでいます。



学生の多彩な活動

「秋田ならではの発信をしたい」「地域の人々と仲よくなって、地域文化を楽しみたい」「キャンパスや学生の魅力をもっと深く知ってもらいたい」——そんな思いを持ち、自主的にチャレンジする学生がたくさんいます。学生たちの積極的な行動の一部をここで紹介します。

地域の移動課題を解決する次世代ライドシェア「Rideon(ライドオン)」

「Rideon」は、次世代型ライドシェアのアプリ開発を通じて、地域の移動課題の解決をめざす学生団体です。自動車中心社会において、公共交通機関の廃止や自家用車を持っていないなど移動を制約される「交通弱者」のためのモビリティ開発に取り組んでおり、現在は本学の中でライドシェア事業を展開しています。学生同士が気軽に乗り合いできる仕組みをつくり、クラウドファンディングやメディアを通じて注目を集めるなど、自分たちのアイデアと行動力で、未来の交通手段の実現に向けて日々活動しています。



学生・教職員・地域の方々と学ぶ「AIUダイバーシティ・ウィーク」

「AIU Core Values」の一つである「Embracing Diversity～ダイバーシティと共に歩む」を体現する機会として、本学では11月25日から30日までの1週間、「AIUダイバーシティ・ウィーク2025」を開催しました。昨年度に続く2回目の実施となりましたが、学生の声をより一層反映したイベントとするため、特別団体「ダイバーシティ・ウィーク プロジェクト」を立ち上げての開催となりました。プロジェクトでは、文化、コミュニケーション、障がい、SOGIEの4チームに加え、全体を統括する運営・広報チームを編成し、各テーマごとに企画・運営を行いました。イベント期間中の平日には、ポスター展示やディスカッションのほか、映画監督・岡野晃子氏をお招きし、『手でふれてみる世界』の上映会を実施しました。また、「なるべさ! ALLY」共同代表の井上美乃氏による、セクシュアリティや自分らしさをテーマとした特別講演も行いました。多様なバックグラウンドを持つ方々の協働によって、多角的にダイバーシティを考える機会となりました。



中嶋記念図書館

学生たちの学ぶ意欲に応え、時間の制約なく勉強に集中できる環境



Hybrid Library

応用国際教養教育を支える ハイブリッド図書館

中嶋記念図書館は、洋書を中心とした紙媒体やデジタル媒体の資料で構成されるハイブリッド図書館で、国際教養大学の応用国際教養教育を支える「知の拠点」です。とりわけ、デジタル媒体の資料のほとんどは英語の学術情報であり、国際的に高く評価されているものを収集・採用しています。これらは、海外の大学生と同等のリサーチ能力と論文執筆能力を身につけることを目的に提供されています。学生は、本学が提供するデジタル媒体の資料にいつでも、世界中のどこからでもアクセスすることが可能です。また、オンラインのディスカバリーサービスや引用文献情報検索ツールを利用することで、学修に必要な情報をすばやく的確に得られます。図書館ではこのようなデジタル資料の利用方法を紹介するワークショップや、学生からの質問に答えるレファレンスサービスもオンラインで実施し、DXの時代にふさわしい学修支援を行っています。



国際教養大学の図書館は眠ることがありません。「本のコロセウム」をテーマに「本と人との出会いの場となる劇場空間」としてデザインされたこの図書館は、24時間365日、学生たちが本と向き合い、勉学に打ち込む「知の闘技場」でもあるのです。美しい秋田杉と伝統技術を活かした傘型屋根が織りなす落ち着いたと安らぎのある空間で、学生たちは、ともに学ぶ仲間の姿に刺激されながら、深夜まで勉強に励んでいます。

「中嶋記念図書館」は、中嶋 嶺雄初代学長の本学創設・発展への功績を称えて命名されました。「24時間の開館」は、中嶋初代学長の「いつでも勉強できる場を提供したい」という強い思いから実現しているものです。

開館時間

- 在学生・教職員
24時間(365日利用可能)
- 高校生カード利用者
午前6時～午後10時(365日利用可能)
- 一般利用者
午前10時～午後5時
(蔵書点検期間・年末年始は入館できません。)
詳細は大学ウェブサイトをご覧ください。



所蔵資料数

2025年4月1日現在

- 図書／87,456冊
(洋書:53,578冊、和書:33,878冊)
- 雑誌／230タイトル
(洋雑誌:135タイトル、和雑誌:95タイトル)
- 視聴覚資料／4,667点
- 電子書籍／約490,000タイトル
- 電子ジャーナル／約11,200タイトル
- データベース／5種類

本学の図書館は、建築家 仙田 満氏(東京工業大学名誉教授)の設計で村野藤吾賞、日本建築家協会賞、国際建築賞2010、グッドデザイン賞、他多数の賞を受賞しております。



Open for Students 24 hours a day, 365 days a year



能動的学修センター(ALC)

Active Learning Center

能動的学修センターは、旺盛な知的好奇心を持って自発的な学修に取り組む学生を支援する拠点です。学生への個別相談・指導、教材や学修スペースの提供、学業に関するワークショップなどの開催を通じて、学ぶ意欲に応えます。学生の目的に応じた支援ができるよう、4つの施設で構成されています。

LDIC

Language Development and Intercultural Studies Center

言語異文化学修センター

言語異文化学修センターは、外国語、異文化、コミュニケーションについての自律学修を支援する施設です。英語をはじめ多数の外国語に関する豊富な教材と充実した設備を備えています。外国語会話パートナープログラムなど留学生との交流もサポートします。

充実した学修設備

施設

多目的ルーム(マルチメディア機能付きグループ学修用)

スピーキングルーム(リスニング、スピーキング、発音の練習が可能)

DVDブース

オープン学修スペース

学修ブース

リーディングラウンジ



外国語の自律学修をサポート

LDICでは、英語集中プログラム(EAP)や外国語実践科目を履修する学生をはじめ、留学などさまざまな目的で外国語の習得を目指す学生が利用できる教材を数多く揃えています。英語多読用教材Xreadingは、オンラインでどこからでも利用することができます。

豊富な学修教材

DVD、ミステリーなどの小説、旅のガイドブック、語学検定試験対策本など、英語を主とした40以上の言語*に関するさまざまな媒体の教材を取り揃えています。自分のレベルや目的に合った教材を選び学修できます。

*アラビア語、イタリア語、インドネシア語、英語、エストニア語、オランダ語、韓国語、広東語、カンボジア語、ギリシャ語、クロアチア語、スウェーデン語、スペイン語、スロバキア語、スロベニア語、スワヒリ語、タイ語、台湾語、タガログ語、タミール語、チェコ語、中国語、デンマーク語、ドイツ語、トルコ語、日本語、ノルウェー語、ハンガリー語、ヒンディー語、フィンランド語、フランス語、ベトナム語、ヘブライ語、ポーランド語、ポルトガル語、マルタ語、マレー語、モンゴル語、ラテン語、ラトビア語、リトアニア語、ルーマニア語、ロシア語 など

LDICの開館時間については、
大学ウェブサイトでご確認ください。



IFR

Infinity Room

超域学修ルーム(インフィニティルーム)

「応用国際教養教育」を掲げる本学では、文系・理系を問わずさまざまな学問分野について、横断的な学修を深めていきます。とはいえ、数学をはじめとした理系科目に苦手意識を持つ学生がいるのも事実。このインフィニティルームは、学生が対面・オンラインを問わず自由に入出りし、数学を「体感」して楽しむことができる実験的なスペースです。学生の好奇心を満たしてくれる遊び心満載のこの空間は、数学を入りに、学生たちをSTEAM科目(科学、技術、工学、芸術、数学)の分野へと誘い、バランスのとれたリベラルアーツ教育を充実させます。



AAC

Academic Achievement Center

学修達成センター

学修達成センターは、チューターとなる学生が、他の学生を個別学修支援するピア(仲間)・サポートの場です。学生の学業における能力を伸ばすだけでなく、主体的に学ぶ力を引き出すことも目的としており、不得意な分野だけではなく、得意な分野においてもさらに力を伸ばせるよう、個々の学生の目標達成に向けて丁寧にサポートします。

チューター

研修を修了した大学院生、学部生がチューターとなり個別学修支援を行います。約20名のチューターがサポートします。

個別学修支援

個別学修支援は、事前の予約により、1回60分、週2回まで受けられます。

サポート分野

- ライティング・センター
- アカデミック・リーディング
- アカデミック・プレゼンテーション
- TOEFL ITP®TEST、TOEFL iBT®TEST
- IELTS™リーディング・ライティング
- 日本語科目(留学生対象)
- 教養数学、代数学、微積分学、統計学
- 生物学

ACSC

Academic Career Support Center

アカデミック・キャリア支援センター

アカデミック・キャリア支援センターは、大学院進学を検討・予定している学部生に対し、進学相談、ワークショップ、講演会などを通じて、分野・地域横断的に国内外の大学院および専門職大学院への進学をサポートします。

▶大学院進学支援に関する詳細はP.60をご覧ください。

THE 日本大学ランキング 2025年度

Japan University
Rankings
Powered by THE

総合 **10** 位 国際性 **1** 位 教育
充実度 **2** 位

学生数が20名未満の授業 (2025年秋季期)



70.6%

50名以上の授業は2.0%

大学通信

2025年度調査
グローバル教育に
力を入れている大学

第 **1** 位

2025年度調査
小規模だが
評価できる大学

第 **1** 位

海外の提携大学数

52カ国・地域の
209大学

(2025年9月1日)

海外の大学院への進学率

62.5%

※大学院進学者数に対する率(2025年9月1日)

学生数(学部生)

795名

(2025年9月1日)

数字が語る！ AIUの独自性



GOOD DESIGN
AWARD 2023
BEST
100

本学の学びの
しくみと環境が

グッドデザイン賞・
ベスト100を受賞

英語による授業科目

100%

(教職課程・一部外国語科目は除く)

TOEFL ITP® TEST

平均
スコア **563.9**

(2025年4月入学の学生、入学から半年後の平均点)

学生数と専任教員数の比

13:1

(2025年9月1日)

外国人教員の割合

54.0%

(2025年9月1日)

キャンパス内 留学生の割合

4人に**1**人

(2025年9月1日)

キャンパス内 居住率 (学生寮・ 学生宿舎)

91%

(2025年9月1日)



日本におけるグローバル教育のモデルを目指して

英語での授業や留学必須を掲げる大学は他にもありますが、AIUが追求するのはその質の高さと密度の濃さです。

ローカルとグローバルを接続しながら入学から卒業まで唯一無二の教育システムと学びの環境を実現しています。

小さな大学だからこそ、できることがあります。



国際教養大学の教育手法が2023年度の「グッドデザイン・ベスト100」を受賞。日本デザイン振興会(東京・港区)が主催するグッドデザイン賞のなかでも高い評価を受けました。



FEATURE

01 すべて 英語の 少人数授業

High Engagement,
All in English

英語で学び、自身を語り、
他者と協働する力を

英語集中プログラム(EAP)
入学直後から学術的な英語運用能力を
徹底的に鍛えます。

平均17人の少人数クラス
聞くだけの授業は皆無。英語で活発に
発言し討論します。

専任教員の半数以上が外国人
日本の常識を前提とせず、グローバルな
視野で学びます。

⇒P.24

FEATURE

02 1年間の 留学義務 One-Year Study Abroad Program

世界のどこで何を学び取るかは、あなた次第

世界トップレベルの209大学へ
52カ国・地域の大学で現地の学生と一緒に専門科目を履修します。

異文化の地で人間力を鍛える
集団派遣ではなく少人数で留学し、人間的にも成長を。

留学を前提としたカリキュラム
早期から留学基礎力を養い、専門分野を見極めて留学先を決定。

⇒P.44

FEATURE

03 多文化共生の キャンパスライフ Multicultural Campus

“世界の縮図”で送る日々が、人間力を高める

キャンパス内の4人に1人が外国人留学生
世界中から留学生が集う、真のグローバルキャンパスです。

多様な学生たちとの共同生活
日本全国、世界各地から集う学生が共同生活を通して
グローバルコミュニティで生活する術を学びます。

クラブ活動や秋田ならではの地域交流
学年、国籍の垣根を超え、交流を深めます。

⇒P.50

FEATURE

04 多彩な可能性を広げる 進路選択支援 Career Support

職業に就くも学びを究めるも、ボーダーを超えて

1年次からのキャリア教育
進路を自分で切り開く力を、早期からのキャリア教育で養います。

世界で事業展開する企業へ
リーダーシップやコミュニケーションスキルを多様な分野で発揮できます。

国内外の大学院進学を支援
世界の名門大学院への進学を専門スタッフが支援します。

⇒P.56

FEATURE

05 多様な人材を発掘する 入試制度 Admissions

グローバル人材に育つあなたの意欲や素質を評価

入試制度は11種類
学力に加え能力や資質を評価する多様な入試を用意しています。

入学時期は4月と9月
入試によって、入学時期が異なります。

最大4回の受験チャンス
10月の特別選抜をはじめ、1人最大4回の受験チャンスがあります。

⇒P.66

すべて英語の少人数授業

High Engagement, All in English

世界共通語の英語で深く議論し、
最適解を見つける力を身につける

すべての授業を英語で開講していることが、国際教養大学の大きな特色です。授業で扱うのは、世界に通用する教養。平均17人程度の少人数クラスで行う英語での深い議論を通して、他者の意見を聞き、自分の考えを述べる経験を多くの授業で積み重ねます。こうした学びを経て学生は、世界のどこに行き、どんな問題に直面しても、人々と対話しながら最適な答えを導き出す力を身につけます。

動画で見る



英語による授業科目

100%

視野を広げ、世界を舞台に活躍するために、英語で理解し、考え、意見を主張できる能力を鍛えます。

※教職課程・一部外国語科目は除く

実践の場を通して学ぶ

国際教養教育

多種多様な手法による授業が展開されています。発言が頻繁に求められる環境で、学際的な学びと思考の訓練を積んでいます。

先端的研究を進める

教授陣

全教員の半数以上が外国人です。人文・社会・自然科学の各領域で高度な研究実績を挙げる教員がそろっています。

国際教養学部 国際教養学科

現代を知り未来を展望する3領域 | 選んだ領域に軸足を置いて多分野を学ぶ

学びの切り口(分野):7つのクラスター

GB

グローバル・ビジネス領域

国内外のビジネス分野での活躍を目指す学生のために、会計・ビジネス文化・経済・金融・法律・経営・マーケティング・定量分析といった、ビジネスと経済学に関する科目群を開講します。ビジネスの意思決定に関連する幅広い理解を身につけます。

GS

グローバル・スタディズ領域

今日の世界は、深刻な経済格差や社会の分断、国際秩序を脅かす紛争、喫緊の課題である環境問題など、さまざまな困難に直面しています。本領域では、混迷を深め続ける世界を生き抜くための知識と思考力、分析力を、3つのクラスターで養います。

GC

グローバル・コネクティビティ領域

文化・文学・哲学といった、生きることの意味や価値を探究する人文科学と、現代社会において急速に進化しているデジタルテクノロジーを学びます。両分野の「つながり(connectivity)」を意識しながら学ぶことにより、変化する社会に柔軟に適應する力を育てます。

B

ビジネス

E

経済学

G

グローバル社会

P

政治学と国際関係論

S

サステナビリティ

H

人、文化とコミュニケーション

T

科学技術と社会創造

アカデミック・アドバイザー

すべての学生に専任教員がアドバイザーとして選任され、本学での学業や学生生活をサポートします。教養専門科目の領域選択や留学先の決定、あるいは卒業後の進路などで重要な決断が求められるとき、アドバイザーは学生と真剣に向き合い、困難を乗り越えられるよう支援します。

領域を横断した学びで統合知を鍛える

さまざまな要因が絡み合った複雑な課題を解決するには、学問の境界を越えて、多角的な視野で思考し、複数の知識体系を統合する力が必要になります。こうした力を身につけられるように、自由度の高い科目選択と領域が横断している科目を用意しています。

領域を越えた科目の選択

自分が選択した領域にはない、他の領域の科目を選択することができます。例えば、グローバル・スタディズ領域に所属していても、ビジネスの基礎を身につけたいと思えば、グローバル・ビジネス領域の「グローバル・マーケティング」の科目を履修するなど自分が目指す将来像や興味に応じて、知識体系を蓄積することができます。

領域とクラスターを横断した科目の設定「クロスリスト科目」

取り扱うテーマ自体が領域やクラスターを横断している科目が多く設定されています。

▶ 例えば「エコビジネスとサステナビリティ」**B S**

この科目は、**B**(ビジネス)と**S**(サステナビリティ)の2つのクラスターにまたがっています。哲学・経済学・政治学・科学など複数の学問分野の考え方を組み合わせ、ビジネスが地球の未来とどのように関わっているかを「グローバル・ビジネス領域」の学生と「グローバル・スタディズ領域」の学生が一緒になって考察していきます。

国際教養学科の科目一覧 ▶P.36-39

レベル別クラスで集中的に 学術的な英語運用能力を養う

本学では、学位取得のための授業をすべて英語で行っています。英語で行われる講義を理解し、教員や学生と議論したり、論文作成したりするためには、学術的な英語の運用能力が欠かせません。入学後に行う英語集中プログラム(EAP)では、各学生のレベルに合わせた教授法で、本学や留学先大学の学びに必要な英語運用能力や学修のスキルを養います。

特色1

学生の力に合わせたレベル分け

入学時の学生の英語能力は一律ではありません。そのため、新入生は入学後すぐ、授業が始まる前に学術的な英語力を測るテスト(TOEFL ITP® TEST)を受けます。EAPでは、このテストの結果を目安に3つのレベル(I・II・III)にクラスを分けて、個々の学生の力に合った教授法により効率よく力を伸ばしていきます。EAPⅢより高いレベルの英語能力を持ち、一定の条件を満たした新入生は、EAPⅢの履修を免除され、代わりに高校から大学教育への『橋渡し』となる導入教育「EAPブリッジプログラム」で、本学の教養教育で必要となる学習スキルを修得しながら、基礎科目群の特定の科目を履修します。

特色2

「英語で学ぶ」ための英語を学ぶ

各レベルともWriting、Reading、Listening & Speakingのコースで構成されており、外国人を中心とした教員の指導のもと、学術的な題材を扱いながら、この4技能を伸ばしていきます。人文科学・自然科学・社会科学など幅広いテーマの読解や作文、また、各種メディアで話題のトピックや社会情勢等のニュースを題材にしたプレゼンテーションや議論など、内容も重視して実践的に学びます。EAPを修了する頃には、講義を聴く、ノートをとる、内容を理解して自分で考える、自分が考えたことを発表する、討論する、レポートや論文を作成するなど、大学での学びに必要なことが英語でできるようになります。

特色3

自らの目標に向かって努力する 「自主言語学修」

EAPの授業では課題として「自主言語学修」が出されます。例えば、ディスカッションで使用する教材の準備や、授業外に週3時間以上英語で多読することが求められます。このような課題に能動的に取り組めるように、言語異文化学修センター(LDIC)では、言語学修を進めるために必要な教材や設備を提供しています。さらに、授業の一環として行われる「自己学修プロジェクト」を通し、自分自身の学修に責任を持つ姿勢を身につけ、英語のスキルアップと同時に、言語学修への理解を深めます。この経験は、「教養基盤科目群」で選択する外国語科目や留学先言語の学びにおいて、能動的言語学修者になることへとつながります。

EAPプログラムにおける2つの目標

大学のリベラルアーツ科目の履修に必要な学術英語の運用能力を身につける。

多文化が共生する環境を最大に活かして、グローバルな視点を身につける。

レベルアップ チャート



Message from the Head



国際色豊かな学びの環境で 最大限の能力を発揮する

EAPは単に英語力を養うプログラムではありません。人文科学・自然科学・社会科学などの学問分野や最新のニュースを題材に、大学で必要となる学術的な英語を実践的に学びます。英語で講義を聞きノートをとる、討論する、レポートを作成するといった学びの技法を修得し、国際色豊かな学生コミュニティの一員として優れた能力を発揮する術を身につけます。

マルコム・シム

英語集中プログラム・外国語教育代表
教授

Dr. Malcolm SIM

Student Voice

本学を志望した理由とEAPの魅力

特定の専門分野を決めきれずにいた私が幅広い知識を学びながら自分の関心を見極めていけるAIUのリベラルアーツ教育を知り、ここなら自分らしく学びを深められるという強い納得感がありました。EAPの授業は学生と教授の距離が近く、ディスカッションを通じて主体的に考え、発言することが求められます。プレゼンテーションの際は内容だけでなく、時間配分や表現方法まで精密に設計する必要がありました。準備期間中は練習と修正を重ね、仲間と一緒に取り組み、乗り越えました。またWritingの授業では学術論文の形式を学ぶなかで、情報をそのまま受け取るのではなく根拠や背景を踏まえて多角的に検討する力が養われたと感じています。

AIUを目指す皆さんに伝えたいこと

国内外から集まる個性豊かな学生たちは、日々多くの刺激を与えてくれます。彼らの姿勢に触発され、自分も周囲に良い影響を与えられる存在でありたいと考えようになりました。仲間と切磋琢磨できるこの環境は、主体的に学び続ける姿勢を自然と引き出してくれます。こうした環境の中で、自らの関心を存分に追求したいと望む方にとって、AIUは最適な学びの場だと思います。ぜひ飛び込んでください。皆さんとキャンパスでお会いできる日を、心から楽しみにしています。

天木 あさひ

大阪府／2025年入学

Asahi AMAKI

時間割・タイムスケジュール

	月	火	水	木	金	土	日
8:00	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食		
9:00						睡眠	睡眠
10:00	EAP Reading	課題	EAP Reading	課題	図書館 (国際ニュース確認)		
11:00	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食
12:00	オリエンテーション		オリエンテーション				
13:00		Computer Basics		Computer Basics	FLCP(English)※	自由時間	自由時間
14:00	EAP Speaking/Listening		EAP Speaking/Listening		FLCP(Japanese)		
15:00		EAP Writing		EAP Writing	買い物	図書館 (国際ニュース確認)	図書館 (国際ニュース確認)
16:00	課題	課題	課題			課題	課題
17:00	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食
18:00	課題						
19:00	クラブ活動 (弓道)	課題	課題	クラブ活動 (弓道)			
20:00				図書館 (国際ニュース確認)			
21:00	課題			留学生と交流	ギター練習	友人と会話	友人と会話

※FLCP=Foreign Language Conversation Partner

高い英語力を有する学生を対象とした大学教育への導入プログラム

EAPブリッジプログラム(3単位) ※条件: ●TOEFL ITP® TEST 550点以上 ●英語圏の国で生活した経験がある、または長期間英語で教育を受けたことがある など

高いレベルの英語力を有し、英語圏の国で生活した経験があるなど一定の条件*を満たした新入生は、EAP I～Ⅲの履修が免除されます。代わりに「EAPブリッジプログラム」でリベラルアーツ教育に関する理解を深め、大学レベルの授業に必要な学修スキルを修得します。他に基礎科目群の中から次の3科目を履修します。

アカデミック・リーディング (3単位)

大学の授業で使われるさまざまな分野の文献を読みこなすための読解力、スピードを身につける。

コンピュータ・リテラシー (3単位)

現代社会で必要なコンピューターとデジタル・リテラシーの基礎を学び、運用能力を修得する。

英作文 I (3単位)

1,500～2,000語の小論文作成に取り組むなど、大学の授業に必要なライティングのスキルを磨く。

多面的にビジネスを学び 未来の課題解決に挑む

グローバル化の進展により、企業活動は複雑化の度合いを増しています。不確実性の高い現代において、企業が社会に有用な財・サービスを持続的に提供していくためには、地域、ときには世界的規模でニーズを的確に把握し、戦略を策定しなければいけません。本領域ではこれに対応すべく、「経済学」および「ビジネス」を中心に科目群を開講。国際的かつ学際的な視野に立ち、教員と学生による対話型の授業を展開します。教授陣は優れた教育者であるとともに第一線の研究者であり、ビジネスの経験・実績が豊富な人材も揃っています。斬新な発想で課題を解決する創造力や批判的な思考力を養い、国際的な舞台で活躍するためのキャリアの基盤を築きます。

AILA4：総合セミナー
(P5参照)
リサーチペーパーテーマ例

- SDGs評価と企業財務業績の関係について
- カップ一杯から一国全体へ：抹茶に関する知識がフランス人消費者の訪日意欲に与える影響
- フェアトレード認証の費用対効果：ウガンダのカカオ農園における観察とコンジョイント分析アプローチ
- 人口減少下における持続可能な農村滞在ビジネスモデルの開発：仙北市を事例として
- 文化的隔たりと寛容性の度合いが文化が異文化適応に与える影響：日本への海外駐在員
- 自己イメージ致性がサステナブルファッション製品に与える影響
- 日本におけるスポーツクラウドファンディングの成功要因

Message from the Director



多様性に満ちたAIUの環境が 国際競争力のある人材を育む

本領域で提供する学びは、ビジネス分野に必要な知識やスキルの習得ではありません。キャリアの長期的な構築に不可欠な力、つまりコミュニケーションスキルや批判的・創造的な思考力、課題解決に向けた学際的アプローチ、ビジネスの意志決定における文化的・歴史的文脈の理解力を養います。本学の特色であるリベラルアーツ教育、そして多様な考えや経験を持つ人々が学び合う学修環境が、世界が抱える課題の解決に資する国際競争力のある人材を育成します。

クリントン・ワトキンス

グローバル・ビジネス領域長
教授

Dr. Clinton WATKINS

GB領域の2つのクラスター

ビジネス クラスター

ビジネスで必須の学問である会計学、資金調達・運用を学ぶファイナンス、顧客のニーズを的確に把握するマーケティング、経営の戦略や組織の問題を扱うマネジメントを学修します。課題解決のための議論を活発に行い、批判的思考やコミュニケーションを徹底的に訓練します。

経済学 クラスター

文系・理系を超えた科目群で構成しています。ミクロ・マクロ経済学や統計学の基礎と並行して、リアルデータの分析や政策評価のケーススタディを行い応用力を身につけます。国際経済や環境、開発経済などの専門的な科目では、学んだ知識と最新の研究による知見を融合します。

Student Voice

GB領域を選んだ理由と面白さ

社会貢献活動をしたと考えていた私は、国内外で通用する知識と課題解決能力を身につけられ、将来的な選択肢も広げられると考え、GB領域を選びました。「会計学」の授業が面白く、国や文化、会社が提供する商品・サービスによってまったく異なる考え方と計算方法があり、さらに数字だけで会社の事情と商品・サービスの受注から売上までのプロセスを分析できると知ったときは興味深く感じました。ビジネスには人間が関わっているため完全な「正解」は存在せず、想定していなかった結果になることもしばしばあります。その不確定要素こそが非常に面白く、この領域を選んでよかったと思います。

AIUを目指す皆さんに伝えたいこと

AIUでは「使える英語」を身につけることができます。私がAIUを志望したのも、幼いころから学習してきた英語力を実践的なレベルに高められると思ったからです。また、多様な視点から物事を考える姿勢が養われるため、多くの学生が柔軟な発想を持ち、広く深く人と関わり合おうとする雰囲気があります。それぞれが自分の目標を持ちながら、困ったときはお互いに助け合う関係を築くことができます。ぜひAIUに入学して、仲間と切磋琢磨してほしいと思います。

石川 ありさ

千葉県／2023年入学

Arisa ISHIKAWA

科目ピックアップ

〔国際財務管理〕

グローバル展開する企業が円滑に経営を続けていくためには、国際金融市場の動きを正しく理解し、その流れに沿った資金調達や資産運用を行うことが求められます。この科目では、為替先渡取引やオプション契約、借入金融など多国籍企業が財務リスクを回避するのに役立つさまざまな概念・理論を学び、その運用手法の修得を目指します。

〔グローバル・マーケティング〕

ダイナミックに変化し続けるグローバル市場の中で、効果的に顧客へ価値を提供するためには、マーケティング戦略に関わる概念や理論だけではなく、文化的、歴史的、経済的、法的、論理的、そして社会的な問題を認識することも必要となります。この科目ではグローバル市場をさまざまな角度から調査・分析・評価する手法を学びます。

〔環境経済学〕

環境汚染や気候変動に対する規制や政策を実施する際、便益（ベネフィット）と費用（コスト）が発生し、双方のバランスを考慮する必要があります。環境経済学の講義では、こうしたトレードオフの関係を適切に理解し、環境税や排出権取引などの実際の環境政策について、便益費用分析のフレームワークに則った評価手法を学びます。

時間割・タイムスケジュール

	月	火	水	木	金	土	日
8:00	課題	課題	睡眠 朝食	睡眠 朝食	睡眠 朝食	睡眠	朝食
9:00	会計学	課題	会計学	課題	課題	朝食	課題
10:00	経済学原理ミクロ	予習	経済学原理ミクロ	予習	課題	課題	洗濯
11:00		昼食		昼食		課題	課題
12:00	留学セミナー	日本国憲法と法	昼食	日本国憲法と法	昼食	外食	昼食
13:00	昼食						
14:00	英作文Ⅱと図書館 調査手法序論	グローバル 研究概論	英作文Ⅱと図書館 調査手法序論	グローバル 研究概論	課題	お出かけ	お出かけ
15:00		心理学I		心理学I	課題	買い物	
16:00	課題	自由時間	課題	クラブ活動 (AIUマルシェ)			
17:00							
18:00	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	外食	外食
19:00							
20:00	アルバイト	課題	アルバイト	課題	課題	課題	課題
21:00			自由時間	自由時間	アルバイト		アルバイト

グローバル化する世界を 創造的な思考で生き抜く

グローバル化する世界を生き抜くために必要なのは、世界の国や地域の歴史、文化、社会、政治、経済をはじめ、国家間・地域間の関係、国際機関・国際組織の機能と役割、地球規模の現象などに関する広範な知識です。そして世界に広く貢献する人材となるためには、それらの知識に裏打ちされた、論理的かつ創造的な思考力・発想力が大きな強みとなります。本領域では、「グローバル社会」「政治学と国際関係論」「サステナビリティ」の3つのクラスターを中心に、学生の興味や関心に応じて知識の蓄積と深化に努めます。さらに積極的な学修活動への参加を通して、従来の発想や価値観にとらわれない柔軟な考察・分析力を磨きます。

AILA4：総合セミナー
(P5参照)
リサーチペーパーテーマ例

- 少子高齢化のなかでの地域振興における「関係人口」の役割
- 東アジアにおける非婚化・少子化の比較研究
- 選挙制度のデジタル化と民主主義の行方
- 変化する米中関係に対する日本の対応

- 男女格差解消に向けた取り組みとメディアの役割
- 人間の安全保障と欧州諸国における移民をめぐる現状
- 国際環境の変化と日台関係
- 地方の活性化のための産学官連携の在り方

GS領域の3つのクラスター

グローバル社会 クラスター

貧困や格差、人の移動、差別や人権をめぐる諸問題、宗教やイデオロギー、文化に起因する摩擦など、人類は多種多様な問題に直面しています。地域社会から国・地域、さらには地球規模の問題まで幅広く網羅し学修します。

政治学と国際関係論 クラスター

政治学、地理学、歴史学、国際関係論など複数の分野にまたがり、東アジア・東南アジア・北アメリカ・ヨーロッパ等の法律や政治制度、国際機関とその役割、日米関係や日中関係等を含む国際関係、安全保障問題等を学修します。

サステナビリティ クラスター

世界が経済発展を遂げる一方で環境や資源の問題が深刻化する今、人類に具体的な行動が求められています。持続可能な環境、経済、社会の構築という重大課題と人類社会の目指すべき姿を多角的に学修します。

Message from the Director



地球を生きる一員として 人類社会に広く貢献する

冷戦終結から30有余年、世界各地において政治や経済は大きく変動し、高度情報化による人・モノの往来は世界規模で拡大しました。その一方で、紛争や環境破壊、パンデミック、反グローバリズムの台頭などの課題が、人類社会を大きく揺るがしています。この混沌とした世界で我々に求められるのは、社会や国家、さらに地球社会の一員である自覚をもって思考し行動する力です。本領域は学際的知見に裏打ちされた思考力で、人類社会に広く貢献する人材の育成を目指します。

水野 智仁

グローバル・スタディーズ領域長
教授

Dr. Norihito MIZUNO

Student Voice

GS領域を選んだ理由と面白さ

GS領域はグループディスカッションが特に多いため、「考えることを楽しむ」という言葉を大切にする自分に最も合っていると感じ、選択しました。印象に残ったのは「関係人口論」の授業。関係人口とは、地域と深い関わりを持ち地域課題の解決に資する人々を指す、人口減少社会において重要な概念です。それをより深く理解するため「豊かさとは、発展とは何か」をテーマにグループディスカッションを行いました。対話を通じて他者と自分の間にある考え方の違いに気づき、批判的思考の矢印を自分に向け、それまで持っていた価値観を再考する契機になりました。このようにGS領域では、考えることで自分を深化させる機会がたくさんありました。

AIUを目指す皆さんに伝えたいこと

グローバルとは何でしょうか。それは単に海外という意味ではなく、海の向こうにある無数の国々から、まだ見ぬ海外の集落に至るまでを含む言葉だと私は考えています。秋田という土地で世界全体を見渡すことは、グローバル社会に生きるうえで、身近にあって見落としがちなこと気づき、思考を深めるきっかけを与えてくれました。ローカルとグローバルの視点を行き来することで知見を広げられるAIUで、皆さんも深く深く考えてみませんか。

清水 悠貴

北海道／2022年入学

Yuki SHIMIZU

時間割・タイムスケジュール

	月	火	水	木	金	土	日
8:00	朝食	睡眠 朝食	朝食	睡眠 朝食	睡眠 朝食	睡眠 朝食	睡眠 朝食
9:00	課題	買い物	課題		買い物	課題	課題
10:00					ご飯の作り置き		
11:00	生物学入門	課題	生物学入門	課題			
12:00	課題	昼食	課題	昼食	昼食	昼食	
13:00	昼食	農村社会学	昼食	農村社会学			
14:00	課題		課題		生物実験		
15:00		課題		課題		課題	
16:00	日本の文学I: 現代文学		日本の文学I: 現代文学		課題		
17:00		総合セミナー		総合セミナー			
18:00	アルバイト	夕食		アルバイト	アルバイト		
19:00	夕食	夕食		アルバイト		夕食	夕食
20:00	アルバイト	プロ野球観戦		夕食	夕食		
21:00			友人と外食・温泉	アルバイト	アルバイト	友人とサッカー観戦	友人とバズル

科目ピックアップ

〔国際移動・移住Ⅱ〕

世界では、迫害や紛争・自然災害などで、やむを得ず移住を余儀なくされる人々が増えています。本科目は、移住を迫られる人々の視点から考えることを重視し、その課題と論点をさまざまな角度から学びます。「国内避難民」や「ジェンダーと強制移動」など具体的な課題の検討では、映像も多く取り入れ、学生のディスカッションも重視しています。

〔サステナビリティ思考概論〕

サステナビリティの実現には、現在の課題を解決する新しい社会システムの開発、持続的な開発のしくみ、持続的に人材を育成する教育が必要です。この科目では、サステナビリティの歴史・概念・教育などを学ぶとともに、複雑な課題を理解するシステム思考を学び、課題解決に向けた対策をグループで考えプレゼンテーションを行います。

〔グローバル化時代における社会的課題〕

急速なグローバル化の進展に伴い、世界の多くの人々が、貧困、不平等、食料不足、環境悪化といった社会問題に直面しています。また、これらの問題は相互に関連する性質を持ち、複雑です。この科目では、こうした問題の複雑性を探究し理解し、問題の原因や解決策をディスカッションやグループワークを通して導き出す方法を身につけます。

人文科学とテクノロジーの「つながり」が生む新たな社会

創造と文化を生み出してきた人類の進歩の「源」となったのが、言語とコミュニケーションです。情報が瞬時に拡散するグローバル社会で、デジタルテクノロジーは人類をどのように変えていくのでしょうか。そして豊かな人生を生きるために、私たちはどうすればよいのでしょうか。本領域では文化や文学、哲学といった、生きることの意味や価値を探究する人文科学と、急速な進化を続けるデジタルテクノロジーの両分野を学びます。この2分野の「つながり（connectivity）」を認識し探究する中で、批判的思考や異なる分野の知識を学際的に統合して、これからの社会を創造していく力を養います。

GC領域の2つのクラスター

人、文化とコミュニケーション クラスター

人文科学分野の科目で構成される本クラスターは、歴史、文化、芸術をはじめ、広範囲にわたる知識と分析力、ならびに言語やコミュニケーション力の獲得を目指します。日本および世界の文化的、学術的知識を広げ、グローバル社会の背景と異文化への理解を深めます。

科学技術と社会創造 クラスター

働き方やコミュニケーション、情報アクセスや情報処理をはじめとする現代生活におけるデジタルテクノロジーを題材に、科学技術の影響によって生じる社会的、経済的、哲学的な問題を考察します。デジタル環境を活用し、より豊かな未来社会を創造する方法を探究します。

AILA4: 総合セミナー
(P5参照)
リサーチペーパーテーマ例

- **心と機械**
AI技術の発達を示唆する、ヒトの心と意識
- **AI構築**
ディープラーニングを使用した抽象的ゲームの簡易AIエンジン開発
- **顔認証技術とマイノリティ**
AIと、社会に潜在する偏見についての考察

- **言語の未来**
自動翻訳技術の進歩が言語学習に与える影響
- **科学と芸術**
折り紙の工学的応用を題材とした科学と芸術の創造的な相互作用
- **デジタル時代の学び**
学習と遊びの理論の実践、検証及び発展を目的としたデジタル及び非デジタルメディアの設計

Message from the Director



「文系」「理系」の壁を超え、変化する社会に生きる術を

これからの教育には「文系」「理系」の壁を超えた学びが必要だと考えています。技術革新のスピードを見れば、テクノロジーが未来社会に大きな影響を与えることは間違いありません。学際的に学ぶこと、デジタル技術を駆使すること、己を知り文化や人間を理解すること。そうしたことが変化する社会に適応し柔軟に生きる術となります。テクノロジーの理解は未来を開く鍵となり、人文科学の学びは人生を豊かにする一助となるでしょう。

フローラン・ドメナック

グローバル・コネクティビティ領域長
ICTコーディネーター
教授

Dr. Florent DOMENACH

Student Voice

GC領域を選んだ理由と面白さ

心理学・学習環境・教育に興味があり、これらの分野を学びつつ他分野との関連や多様な文化圏の事例と向き合い、かつテクノロジーの活用という視点も探究できる点に魅力と意義を感じてGC領域に進みました。特に「学習と科学技術」という授業の内容は、行動主義心理学のアプローチを用いて人の学習とその過程を学び、学習効果を科学技術でどのように最大化できるかを考える、まさに私が経験したかったものでした。当授業でAI・ソフトウェア・VRゴーグルなどを実際に使用して科学技術が実現する学習を体験できたことは、科学技術を学習に活用する際の利点と課題点の発見と、どのように現実社会に反映するかを学ぶ、貴重な機会となりました。

AIUを目指す皆さんに伝えたいこと

AIUは学生の学びへの意欲を全力で後押ししてくれる大学だと思います。各々の学びや活動に対して敬意を持ち、その熱意を応援し合い、互いに学び合う姿勢を持った在学生や教職員の方々に囲まれて過ごす大学生活は心から幸せなものであり、これからの人生の土台となりました。大学での出会いや学びは今後も私の原動力となり、世界を広げ続けてくれると信じています。AIUでこそできる貴重な経験が、皆さんにとってより豊かな人生の基盤となることを願っています。

齋藤 小桃

東京都／2022年入学

Comomo SAITO

科目ピックアップ

〔人工知能と人類〕

ゲームから自動運転、癌の診断から犯罪者の判決まで、AIは日常生活や社会で重要な役割を担いつつあります。この科目では、AIの情勢と進化、そしてAIがもたらす影響を探ります。「知性とは何か」といった哲学的な文献を読み、考え、議論することから始め、AIテクノロジーを検証。当分野の進歩に対する最新アプローチや課題について学びます。

時間割・タイムスケジュール

	月	火	水	木	金	土	日
8:00					掃除	クラブ活動 (ダンス部)	課題
9:00	復習・予習	社会学	復習・予習	社会学	課題		
10:00	スペイン語Ⅲ	統計学	スペイン語Ⅲ	統計学			昼食
11:00							
12:00	留学セミナー	昼食	昼食	昼食	昼食		
13:00	昼食	課題		課題		アルバイト	友人と外出
14:00	ビジュアル・ポリティクス		ビジュアル・ポリティクス		課題		
15:00							
16:00	サイバー心理学	心理学Ⅱ	サイバー心理学	心理学Ⅱ	課題		
17:00							課題
18:00	夕食	クラブ活動 (ダンス部)	夕食	夕食	夕食	夕食	
19:00	課題	夕食	食材購入	クラブ活動 (ダンス部)			夕食
20:00							
21:00	クラブ活動 (AIUマルシェ)	課題	課題	課題	映画鑑賞	課題	課題

〔コミュニケーションと演劇〕

コミュニケーションには言語要素と非言語要素が必要です。この科目では、体験的学習法を用いて環境、社会、文化、言語、デジタルの視点からグローバルなテーマを取り扱います。演劇を体験することでグローバル市民について学ぶとともに、創造的なタスクに協力して取り組むことで、効果的なコミュニケーションができる人材育成を目指します。

〔デジタル時代の重要課題〕

インターネットの普及は、これまでの「コミュニケーションとは何か」という定義を変化させました。この科目では、さらに進むデジタル化が人間の価値観や思考などに与える影響について、ディスカッションを中心に探究していきます。「デジタル機器を使わない1日」をきっかけに、自分の思考や感情を観察してデジタル化の影響を考察する機会もあります。

01 教職課程

Teacher's License Program

高等学校教諭一種免許状(英語)を取得するためのプログラム

次世代の英語教育をリードする教員を養成

学校教育で外国語によるコミュニケーション能力の育成が必要とされる今、高度で実践的な英語力と指導力を持つ英語教員が求められています。本学の教職課程では、高等学校教諭一種免許状(英語)の取得が可能です。教育者としての専門性を備え、本学の学びや留学経験で身につけた高度な英語力と幅広い知識、国際感覚を活かして次世代の英語教育をリードする教員を養成します。

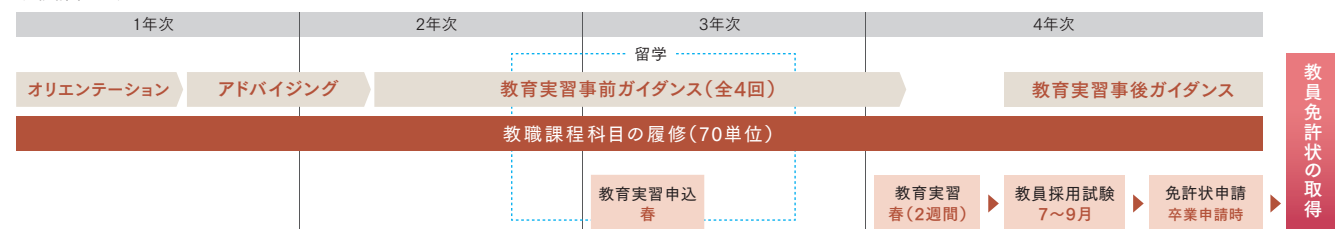
特色1 少人数教育で実践的に学ぶ

グループでのディスカッションやプレゼンテーションなど少人数教育の特色を活かした授業で、学校や子どもたちを取り巻く事象や課題を理論と実践の両面から学びます。教育の現場で役立つ実践的なカリキュラムです。

特色2 教職課程の履修をサポート

教員免許の取得は、言語学修や留学で多忙な本学の学生にとって大きなチャレンジです。「履修カルテ」や「教育実習ガイダンス」などの履修指導と専任教員による個別アドバイスで学生を手厚くサポートします。

教職課程の流れ ※ 図は4年卒業の学生の場合の目安です。※教職課程科目の一部(23単位程度)は卒業単位には含まれません。※ 留学中(4年卒業の場合は2年次冬から3年次秋)は教職課程科目の履修はできません。



Message from the Head

AIUで身につけた力を教育に活かす

大学の学びを糧にさらなる可能性を求めて世界に飛び出すAIUの学生は、英語運用能力や課題解決能力においても、日本の英語教育界をリードする人材となることは間違いありません。人に寄り添い、正しく教え導き育てていくためには、まずは自分が成長することが大切です。切磋琢磨しながら、理想とする教育者への道とともに歩みましょう。

松田 聡

教職課程代表
教授

Prof. Satoshi MATSUDA



Student Voice

■ 教職課程の学びについて

英語の指導法だけでなく、日本の教育制度や学校現場の実態についても深く学びます。生徒指導や特別支援教育に関する議論では、諸外国の制度や事例も参考にしました。英文の資料や身近な留学生から世界中の情報に自らアクセスできるのは、AIU生の強みです。「日本と世界」という双方の視野を持ち、より良い学校教育を追究できます。

■ AIUを目指す皆さんに伝えたいこと

全国・世界各地の異なる場所で教育を受けた互いの経験から学ぶことは多く、各々の学校体験が日本の教育を包括的、そして多角的に考える上でとても貴重です。また、教職課程で学ぶ中で、「人」を造り「人生の可能性」を広げる教育の力を改めて体感することができます。教育に関心のある方々は、ぜひ挑戦してください。

高田 咲良 鳥取県／2022年入学

Sakura TAKATA

世界各地からの留学生とともに日本の理解を深める

日本研究プログラム Japan Studies Program

国際教養大学では、世界各地から約200名の留学生が学んでいます。留学生は日本の生活や文化に強い関心を持ち、積極的に学内外の活動に参加しています。日本研究プログラムでは、留学生とともに「日本」をさまざまな視点から英語で学びます。政治経済や伝統文化、アニメなど幅広い分野を留学生と意見を交わしながら学ぶことで、多角的な視点で日本への理解を深めます。

特色1 「日本」を英語で学ぶ

日本研究が専門の教授陣が、多様な解釈や視点から英語で授業を展開します。他国の人々とのコミュニケーションを通じて自国に対する理解を深め、日本文化などを発信する力を養います。

特色2 幅広い分野を学ぶ

日本の伝統文化から歴史、政治経済、地域研究、映画、アニメなど多様な科目が開講されています。また教室での講義だけではなく、フィールド・トリップなど体験型授業も交えて学びます。

特色3 留学生とともに学ぶ

世界各地からの留学生と日本をテーマにさまざまな議論を繰り広げられるのは、本学ならではの学びです。多様な価値観を理解し、文化を超えた友情とネットワークを築きます。

科目名	
● 日本伝統文化Ⅰ：茶道	● 現代日本の視覚文化：アニメ
● 日本伝統文化Ⅱ：華道、歌舞伎、能と日本舞踊	● 秋田学Ⅰ：秋田学入門
● 日本社会概論	● 異文化理解の視点から見る日本の社会と文化



日本語プログラム Japanese Language Program

留学生や日本語を母語としない正規学生を対象とした日本語学修のプログラムです。日本語能力に応じて初級から上級まで11のレベルに分かれ、少人数クラスで学びます。地域の学校との交流や秋田を探访するフィールド・トリップなども含め、生きた日本語と日本文化を学べるカリキュラムです。さまざまなバックグラウンドを持つ正規学生と日本語で交流し、円滑な日本語コミュニケーション力を養います。

Message from the Head

日本語を通じた異文化交流の場に

異文化交流を期待してAIUに入学する学生は多いと思います。留学生も日本の文化や生活に強い関心を持っています。日本語プログラムでは正規学生が留学生と日本語で交流する機会を多く設けています。日本語を母語とする学生にとっては、日本語や日本文化を多角的に考える貴重な体験となるでしょう。

阿部 祐子

日本語プログラム代表
教授

Dr. Yuko ABE



FEATURE 01
Faculty Members

教員紹介

各教員の詳細については、こちらをご覧ください。



学長／教授 [スリランカ]
モンテ・カセム
Monte CASSIM
修士／東京大学
■健康・環境・生命科学

副学長／国際連携部長／教授 [日本]
熊谷 嘉隆
Yoshitaka KUMAGAI
博士／オレゴン州立大学
■自然保全政策・森林の多目的利用

副学長 [日本]
磯貝 健
Ken ISOGAI
修士／コーネル大学
■経営管理・キャリア教育

国際教養学部 国際教養学科 教員一覧

学部長／教授 [アメリカ]
パトリック・ドーティ
Patrick DOUGHERTY
博士／ノーザンアリゾナ大学
■教育、応用言語学

学部長／教授 [イギリス]
アンディ・クロフツ
Andy CROFTS
博士／ヨーク大学
■細胞生物学、科学教育

英語集中プログラム(EAP)

英語集中プログラム・外国語教育代表／教授 [オーストラリア]
マルコム・シム
Malcolm SIM
博士／マッコーリー大学
■応用言語学

教授 [日本]
荒木 直子
Naoko ARAKI
博士／メルボルン大学
■外国語教育、演劇教育学、カリキュラムと教育法

教授 [アメリカ]
ジョエル・フリードリック
Joel FRIEDERICH
芸術学修士／モンタナ大学
■クリエイティブ・ライティング、詩

准教授 [アメリカ]
カルロス・バディング
Carlos BUDDING
修士／ジョージメイソン大学、ギャローデット大学
■第二言語教育

准教授 [アメリカ]
マリオ・リト
Mario LETO
博士／グロスターシャー大学
■生態言語学、社会言語学、応用言語学

学生部長／准教授 [日本]
長沼 奈絵子
Naeko NAGANUMA
修士／セントクラウド州立大学
■応用言語学、英語教育学

助教 [カナダ]
マーク・ディボア
Mark DE BOER
博士／ハエン大学
■内容言語統合型学習、実践、文章完成法、評価

助教 [アイルランド]
イアン・ハーリー
Ian HURLEY
博士／ダブリン市立大学
■EAP、応用言語学、言語学、教育学

助教 [カナダ]
マイケル・ランドリー
Michael LANDRY
博士／ブリティッシュコロンビア大学
■外国語としての英語教授法(TESOL)

助教 [スウェーデン]
アネス・E・モハメッド
Anes E. MOHAMED
博士／テヘラン大学
■外国語としての英語教授法(TEFL)

助教 [イギリス]
ジェイムズ・リード
James REID
修士／エセックス大学
■教育心理学

助教 [カナダ]
ミゲル・ソーサ
Miguel SOSA
修士／コロンビア大学、オタワ大学
■言語学、音楽学

助教 [イギリス]
ジョー・サイクス
Joe SYKES
博士／シェフィールド・ハラム大学
■教育学

英語集中プログラムコーディネーター／助教 [日本]
田金 雄一
Yuichi TAGANE
修士／国際教養大学
■第二言語ライティング、学業における不正行為

講師 [イギリス]
リー・ベネット
Leigh BENNETT
修士／キングス・カレッジ・ロンドン
■アカデミック・ライティング

講師 [イギリス]
レベッカ・クレッグササキ
Rebecca CLEGG-SASAKI
修士／国際教養大学
■EAP

外国語教育

教授 [韓国]
邊 姫京
Hi-Gyung BYUN
博士／東京大学
■音声学、日韓対照研究、韓国語教育

助教 [韓国]
崔 壯源
Jang-Won CHOI
博士／広島大学
■音声教育方法

講師 [日本]
中田 俊介
Shunsuke NAKATA
修士／エクス＝マルセイユ第一大学、東京外国語大学
■フランス語音声学、音韻論、音声教育

◎職位 ◎出身国・地域 ◎氏名 ◎学位 ◎研究所属分野 の順で記載

教養専門科目群 グローバル・ビジネス領域(GB)

グローバル・ビジネス領域長／教授 [オーストラリア]
クリントン・ワトキンス
Clinton WATKINS
博士／西オーストラリア大学
■金融

研究部長／教授 [日本]
中川 秀幸
Hideyuki NAKAGAWA
博士／カリフォルニア大学バークレー校
■応用ミクロ経済学

准教授 [タイ]
スパルーク・サファイトゥーン
Suppaleuk SARPPHAITOON
博士／クレアモント大学院大学
■日本経済、金融、高齢化社会

准教授 [日本]
俵 典和
Norikazu TAWARA
博士／シカゴ大学
■労働経済学、マクロ経済学、経済成長論

准教授 [香港]
杜 文堤
Wenti DU
博士／クレアモント大学院大学
■マクロ経済学、国際経済学、国際金融

助教 [韓国]
スンキュー・リー
Sungkyu LEE
博士／高麗大学
■マーケティング戦略

特任教授 [日本]
笹渕 一史
Kazushi SASABUCHI
修士／アーサー・Dリトル経営大学 (現 ハルト・インターナショナル・ビジネススクール)
■経営組織論、マクロ経済政策、金融経済

特任教授 [アメリカ]
アンドリュー・サター
Andrew SUTTER
法学博士／カリフォルニア大学
■ディグロース、比較法、応用哲学

客員教授 [日本]
早坂 昌彦
Masahiko HAYASAKA
修士／マンチェスタービジネススクール
■個人の起業意志の形成に影響を及ぼす要因の研究

客員教授 [日本]
隈本 純
Jun KUMAMOTO
博士／国際基督教大学
■マーケティング

客員教授 [日本]
毛利 正人
Masato MORI
修士／ジョージワシントン大学
■企業分析、内部統制、コーポレートガバナンス

客員教授 [日本]
砂川 眞
Makoto SUNAGAWA
修士／クレアモント大学院
■開発金融、開発経済学

客員教授 [タイ]
ジッティマ・トングライ
Jittima TONGURAI
博士／大阪市立大学
■金融

客員教授 [日本]
山岡 三四郎
Sanshiro YAMAOKA
修士／スタンフォード大学
■マネジメント、リーダーシップ、企業分析

客員教授 [日本]
山内 麻理
Mari YAMAUCHI
博士／慶応義塾大学
■ビジネス手法による社会課題解決の実践

教養専門科目群 グローバル・スタディズ領域(GS)

グローバル・スタディズ領域長／教授 [日本]
水野 智仁
Norihiro MIZUNO
博士／オハイオ州立大学
■近世・近代日本の東アジア交流史

教授 [韓国]
キ・ドゥ・ヒョン
Ki Deuk HYUN
博士／ウイスコンシン大学オースティン校
■メディア研究

教授 [日本]
名取 洋司
Yoji NATORI
博士／ウイスコンシン大学マディソン校
■生物多様性保全、SATOYAMA、自然資本

教授 [日本]
豊田 哲也
Tetsuya TOYODA
高等研究学位(DEA)／パリ第2大学
■国際法、国際組織

教授 [アメリカ]
ノア・ケオネ・ヴィエルネス
Noah Keone VIERNES
博士／ハワイ大学マノア校
■政治理論

准教授 [台湾]
陳 宥樺
Yu-Hua CHEN
博士／オーストラリア国立大学
■台湾研究、中国研究、国際関係論

准教授 [イギリス]
ルーク・ディリー
Luke DILLEY
博士／ニューカッスル大学
■農村研究、農村社会学

准教授 [アメリカ]
ケビン・ハックムス
Kevin HOCKMUTH
博士／テンプル大学
■政治経済学、開発論、韓国研究

准教授 [日本]
堀井 里子
Satoko HORII
博士／サセックス大学
■人の移動をめぐる政治制度(主にEU)

准教授 [日本]
工藤 尚悟
Shogo KUDO
博士／東京大学
■サステイナビリティ学、開発学、地域づくり

キャリア開発部長／准教授 [日本]
大森 久子
Hisako OMORI
博士／マクマスター大学
■文化人類学、宗教学

准教授 [日本]
寺野 摩弓
Mayumi TERANO
博士／ピッツバーグ大学
■教育行政・政策、国際協力学

助教 [日本]
竹本 周平
Shuhei TAKEMOTO
修士／東京外国語大学
■米露関係、米露核軍備管理、国際安全保障

特任教授 [日本]
増田 達夫
Tatsuo MASUDA
学士／ケンブリッジ大学
■気候変動・エネルギー、技術、歴史・地政学

客員教授 [日本]
古川 英治
Eiji FURUKAWA
修士／オックスフォード大学大学院
■国際関係、ロシア・東欧、ジャーナリズム

客員教授 [カナダ]
ポール・ハンセン
Paul HANSEN
博士／ロンドン大学
■ポストヒューマニズム、世界政治

客員教授 [アメリカ]
パトリック・ショープ
Patrick SHORB
博士／プリンストン大学
■歴史、教育学

国際教養学部 国際教養学科 教員一覧

教養専門科目群

グローバル・コンネクティビティ領域(GC)



グローバル・コンネクティビティ領域長／ICTコーディネーター／教授 [フランス]
フローラン・ドメナック
Florent DOMENACH
博士／パリ第一大学バンテオン・ソルボンヌ
■データマイニング、プログラミング教育



教授 [日本]
千葉 加恵子
Kaeko CHIBA
博士／ブリストル大学
■社会階層、ジェンダー、日本の伝統芸能



教授 [オーストラリア]
アティラ・エグリナギ
Attila EGRI-NAGY
博士／ハートフォードシャー大学
■計算機代数、人工知能、数学教育



教授 [日本]
奈良 寧
Yasushi NARA
博士／北海道大学
■原子核理論



教授 [アメリカ]
ショーン・オライリー
Sean O'REILLY
博士／ハーバード大学
■日本映画史、映画分析、日本史、幕末時代



准教授 [日本]
橘 保貴
Yasuki TACHIBANA
博士／東京大学
■高エネルギー原子核物理



助教 [イギリス]
ディアナ・ホルロイド
Deanna HOLROYD
博士／オハイオ州立大学
■科学技術社会論、メディア論、デジタルエスノグラフィ、健康の社会学、障害学、人工知能



助教 [イギリス]
カイル・シャトルワース
Kyle SHUTTLEWORTH
博士／クイーンズ大学ベルファスト
■哲学、倫理学、環境倫理学、和辻哲郎の思想



助教 [アメリカ]
パメラ・テイラー
Pamela TAYLOR
博士／京都大学
■感情心理学



助教 [アメリカ]
エリック・ヤンチェンコ
Eric YANCHENKO
博士／ノースカロライナ州立大学
■統計学、ネットワーク科学、データ科学



講師 [アイルランド]
クフランド・剛・マクギバン
Cuhullan Tsuyoshi MCGIVERN
修士／クイーンズランド工科大学
■運動、体重管理、ヨガ、ウェルネス



特任教授 [日本]
阿部 邦子
Kuniko ABE
博士／パリ大学ソルボンヌ校
■美術史、建築史、東西比較芸術論、文化遺産学



特任教授 [日本]
渡辺 玲子
Reiko WATANABE
修士／ジュリアード音楽院
■演奏と演奏解釈



特任准教授 [日本]
廣津留 すみれ
Sumire HIROTSURU
修士／ジュリアード音楽院
■音楽 (ヴァイオリン演奏)



客員教授 [日本]
小牟禮 尊人
Takahito KOMURE
学士／東京造形大学
■吹きガラスとキルンワークでの作品制作



客員教授 [日本]
鈴木 正明
Masaaki SUZUKI
博士／東京大学
■計算機を利用した位相幾何学

日本語プログラム		
 日本語プログラム代表／教授 [日本] 阿部 祐子 Yuko ABE 博士／お茶の水女子大学 ■日本語教育、異文化間教育	 教授 [日本] 近藤 裕美子 Yumiko KONDO 修士／筑波大学 ■日本語教育学、教師教育学	 准教授 [日本] 浜田 英紀 Hideki HAMADA 博士／インディアナ大学 ■日本語教育、外国語教育
 助教 [日本] 橋本 洋輔 Yosuke HASHIMOTO 博士／東北大学 ■日本語教育、特別支援教育、認知神経科学	 助教 [日本] 初田 絢奈 Ayana HATSUDA 博士／アリゾナ大学 ■日本語社会言語学、会話分析	

教職課程		
 教職課程代表／教授 [日本] 松田 聡 Satoshi MIZUTANI 学士／獨協大学 ■高等学校教育 (教育課程、特別活動等)	 教授 [日本] 水谷 佳延 Yoshinobu MIZUTANI 学士／秋田大学 ■高等学校教育 (生徒指導、教育実習等)	 准教授 [日本] 遠藤 秀弘 Hidehiro ENDO 博士／バドュー大学 ■教育学、多文化教育、英語教育

産学連携 研究・学修支援組織 教員一覧

中嶋記念図書館



図書館長／教授 [日本]
豊田 哲也
Tetsuya TOYODA
高等研究学位 (DEA)／パリ第2大学
■国際法、国際組織

応用国際教養教育推進機構



応用国際教養教育推進機構長 [スリランカ]
モンテ・カセム
Monte CASSIM
修士／東京大学
■健康・環境・生命科学

プロジェクト特命教授 [スリランカ]
ラナハンサ・ダサナヤカ
Ranahansa DASANAYAKE
博士／カッセル大学
■持続可能な資源管理、マテリアルフロー管理と循環型経済、複雑系最適化

人間とAI共創センター



人間とAI共創センター長／教授 [フランス]
フローラン・ドメナック
Florent DOMENACH
博士／パリ第一大学バンテオン・ソルボンヌ
■データマイニング、プログラミング教育

能動的学修センター



能動的学修センター長／教授 [日本]
豊田 哲也
Tetsuya TOYODA
高等研究学位 (DEA)／パリ第2大学
■国際法、国際組織

言語異文化学修センターコーディネーター／准教授 [アメリカ]
カルロス・バディング
Carlos BUDDING
修士／ジョージメイソン大学、ギャロデット大学
■第二言語教育

アカデミック・キャリア支援センターコーディネーター／准教授 [日本]
大森 久子
Hisako OMORI
博士／マクマスター大学
■文化人類学、宗教学

学修達成センターコーディネーター／准教授 [日本]
遠藤 秀弘
Hidehiro ENDO
博士／バドュー大学
■教育学、多文化教育、英語教育

超域学修ルームコーディネーター／L-LABコーディネーター／教授 [オーストラリア]
アティラ・エグリナギ
Attila EGRI-NAGY
博士／ハートフォードシャー大学
■計算機代数、人工知能、数学教育

デザイン創造・データサイエンスセンター



デザイン創造・データサイエンスセンター長／特命教授 [日本]
精山 明敏
Akitoshi SEIYAMA
博士／北海道大学
■IoT技術の開発と脳科学への応用

デザイン創造データサイエンスセンターコーディネーター／准教授 [日本]
俵 典和
Norikazu TAWARA
博士／シカゴ大学
■労働経済学、マクロ経済学、経済成長論

地域連携協働研究センター



地域連携協働研究センター長／教授 [イギリス]
アンディ・クロフツ
Andy CROFTS
博士／ヨーク大学
■細胞生物学・科学教育

地域連携協働研究センターコーディネーター／教授 [日本]
中川 秀幸
Hideyuki NAKAGAWA
博士／カリフォルニア大学バークレー校
■応用ミクロ経済学

テーマ別ハウス群コーディネーター (こまち寮)／教授 [日本]
豊田 哲也
Tetsuya TOYODA
高等研究学位 (DEA)／パリ第2大学
■国際法、国際組織

日本研究プログラムコーディネーター／教授 [アメリカ]
ショーン・オライリー
Sean O'REILLY
博士／ハーバード大学
■日本映画史、映画分析、日本史、幕末時代

テーマ別ハウス群コーディネーター (学生宿舎)／准教授 [日本]
長沼 奈絵子
Naeko NAGANUMA
修士／セントクラウド州立大学
■応用言語学、英語教育学

名誉教授							
名誉学長 [日本] 中嶋 嶺雄 Mineo NAKAJIMA	特別功労教授 [日本] 寺田 典城 Sukeshiro TERATA	特別功労教授 [日本] 給田 英哉 Hideya TAIDA	名誉教授 [日本] 明石 康 Yasushi AKASHI	名誉教授 [日本] 鮎澤 孝子 Takako AYUSAWA	名誉教授 [日本] 前中 ひろみ Hiromi MAENAKA	名誉教授 [日本] 勝又 美智雄 Michio KATSUMATA	
名誉教授 [ロシア] アレキサンダー・ドリン Alexander DOLIN	名誉教授 [日本] 森園 浩一 Koichi MORIZONO	名誉教授 [日本] 伊藤 陽一 Youichi ITO	名誉教授 [日本] 市川 博也 Hiroya ICHIKAWA	名誉教授 [日本] 佐野 ひろみ Hiromi SANO	名誉教授 [日本] 杉山 朗子 Akiko SUGIYAMA	名誉教授 [ポーランド] マーチン・シュローダー Marcin SCHROEDER	
名誉教授 [中国] ウェイ・ホンユン Hongyun WEI	名誉教授 [中国] 陳 風 Feng CHEN	名誉教授 [日本] 佐藤 健公 Kenkoh SATOH	名誉特任教授 [イギリス] グレゴリー・クラーク Gregory CLARK	名誉特任教授 [日本] 縣 正彦 Masahiko AGATA	名誉客員教授 [日本] 石川 薫 Kaoru ISHIKAWA		

1年間の留学義務

One-Year Study Abroad Program

飛び込む先は、世界トップクラスの大学
現地の学生と対等に学び合う1年間

動画で見る



本学ではすべての学生が留学先大学の専門科目の授業を受け、卒業に必要な単位を修得します。自らの関心に沿って選択した多様な留学先で、現地の優秀な学生と対等に議論を交わし、多くの価値観に触れる中で、専門領域に関わる理解を深めます。また、自国や自分自身を見つめ直し、未来への指針を見出します。厳しくも学びがいのある環境で、学生たちは大きな成長を遂げます。

世界トップレベルの
209大学へ

52カ国・地域から大学を選択し、「現地学生」として専門科目を履修。所定の成績を修めた単位を認定します。

異文化の地で
人間力を鍛える

本学の留学は1〜3名の少人数派遣。慣れない環境でも自ら工夫し困難に立ち向かう人へと成長します。

留学先の
授業料免除

本学に納める授業料により留学先の授業料を免除（一部大学を除く）。経済的な負担が少なく、現地での学びに集中できます。

留学出発までの流れ | 何を学ぶためにどこに留学し、どのように過ごすか。決めるのは、自分自身。

STEP.1 入学後

1

情報収集しながら
自分の留学像を明確にする

帰国した先輩や外国人留学生から情報が得られる「留学フェア」、提携校の資料やレポートが閲覧できる「留学ガイド」、対面もしくはオンラインで行う「留学個別相談」など、さまざまな取り組みを通して国際センター職員がサポートします。

日頃の学びにおける留学準備

英語力

現地学生と議論できるよう英語力を鍛える

学業成績

留学要件をクリアしてさらに上を目指す

専門領域

留学先で究めたい分野を明確化する

STEP.2 出発の1年半前〜

2

学びたい専門分野を見極めて
留学したい大学をリサーチ

関心がある国や地域、自分が学びたい専門領域を考慮し、アカデミック・アドバイザーと相談しながら留学先大学や履修する科目を決定します。成績維持を心がけて学内選考に臨みます。

留学の要件

TOEFL®ITP TEST:550点相当以上
GPA(成績評価平均点):2.50以上
必要単位の修得

学内申請・選考

STEP.3 出発直前の学期

3

決定した留学先への
準備を開始する

学内選考を経て留学先が決定したら、各種手続きを学生自身で行います。現地との英語による折衝が必要な場合があり、留学準備自体が学びの機会になります。

〈各種手続き〉

住居申請、健康診断、予防接種、ビザ・滞在許可申請、危機管理、保険加入 など

〈渡航準備〉

航空券手配、渡航チェック

※一定の英語力・成績要件をクリアしてから留学するため、留学時期は学生によって異なり、多くは2年次の冬から3年次の秋にかけて出発しています。
※提携大学の事情により、希望する大学に留学できない場合があります。



Student
Voice

須崎 和真

東京都／2022年入学

Kazuma SUSAKI

留学先

マヒドン大学
インターナショナルカレッジ(タイ)

候補となった大学

①マヒドン大学インターナショナルカレッジ(タイ)
②マラヤ大学(マレーシア)
③ナンヤン工科大学(シンガポール)
④淡江大学(台湾)
⑤香港バプティスト大学(香港)

丁寧なアドバイスと
迅速なサポートで
不安のない留学生活に

留学先をどの地域にするか悩んでいたとき、国際センターから「学びの対象を国際関係全般かアジアに特化するのが明確にしよう」とアドバイスを受けました。この助言をきっかけに、リサーチペーパーで扱いたいテーマを見据え、東南アジアへの留学を決めました。寮選びやビザ取得の際も、迅速かつ丁寧なサポートのおかげで、安心して留学することができました。

イリノイ大学 アーバナ・シャンペーン校 (アメリカ) University of Illinois at Urbana Champaign

佐藤 陽奈 愛知県／2023年入学 留学期間：2025年1月～2025年12月



Hina SATO

人とのつながりで協働意識と責任感が向上

イリノイ大学は教育内容の国際的評価が高く、広大なキャンパスタウン内でのクラブ活動や文化交流も活発です。GS領域のトピックの中でメディア学に特に興味を持っていた私は、この大学ならメディア学の見識を深め、専門性を高められると感じ、留学を決めました。留学を通じて実感したのは、人とのつながりの大切さです。学生団体では日本人学生や日本に興味のある学生が集まり、自分の文化を受け入れてくれるという安心感を持って、仲間との協働意識を培うことができました。多くの学生はキャンパスタウンに居住しているため、大学の温もりを常に感じながら生活できる心強さがあり、その一員として他の学生の支えになるという責任感を高めることができました。

留学先で学んだ授業 大衆メディアにおける性とジェンダー

メディアにおける性とジェンダーの表象を通して、フェミニズムや女性蔑視の構造を学びました。「ポピュラー・フェミニズム」の概念をもとに、SNSや広告がどのように女性の可視化やエンパワメントの商品化を行い、消費を強化するか考察しました。現代メディアの意義を理解し、視聴者の視点から批判的に捉える力がつきました。

ラップランド大学 (フィンランド) University of Lapland

川端 優木 奈良県／2022年入学 留学期間：2025年1月～2025年12月



Yuki KAWABATA

前列の左が川端さん

学問と暮らしの双方から心豊かな学びを体得

地域資源、地域コミュニティ、アートの3要素を活用した教育づくりを学びたいと考え、世界的にも教育水準が高く多角的に学問を修められる、フィンランドのラップランド大学を留学先に選択。留学を通じて、学問と暮らしの双方から学びがありました。学問の面では「地域の魅力を取り込んだ教育づくり」の重要性を実感しました。国際化が急激に進む現代、地域の自然やコミュニティを巻き込み、地域一体で次世代を育てる環境が必要だと学びました。暮らしの面では、夏休みにサマーコテージで過ごしたことをきっかけに、家族や友人、自然、食の恵みに感謝しながら暮らすことで、心が豊かになることを体感し、「人生を豊かに生きるコツ」を身につけました。

留学先で学んだ授業 フィンランドの教育制度論

フィンランドの教育制度の概要に加え、幼児教育、特別支援教育、成人・生涯教育、そしてメディア教育を学びました。印象深いのは、国際学力調査(PISA)のスコアに基づくフィンランドの教育レベルについて、クラスメイトと考察したことです。失業率増加や人口減少に直面している現状に対し、教育で何ができることはないか話し合いました。

ナンヤン工科大学 (シンガポール) Nanyang Technological University

望月 優 東京都／2023年入学 留学期間：2025年1月～2025年12月



Yutaka MOCHIZUKI

多様な人々との生活で適応力を養う

生活水準や教育・医療へのアクセスに関する国ごとの格差と、その背景にある政策との相互作用を解明できるのは経済学だと考え、専攻を決めました。留学先は、実践的かつ高度な学びが得られるナンヤン工科大学を選択。開発経済学に注力し、国家間の経済成長の差異や発展途上国の課題について、データ分析と経済理論を組み合わせて学びました。特にシンガポールの急速な経済発展について、その要因を多角的な観点から理解を深めました。また、マレー・華人・インド・欧米文化など多様な背景を持つ人々との生活によって異文化理解の重要性を実感。異なる価値観や習慣に触れることで柔軟な適応力が養われ、コミュニケーション能力も向上しました。

留学先で学んだ授業 医療経済学

国ごとの医療財政制度や社会保障制度を比較して制度設計や財政運営の違いを学びました。シンガポール議会を模したディベートでは、政策決定や制度運営の現実的な課題に触れることができました。シンガポールの社会問題は日本にも通じる部分が多く、両国の制度を比較し、持続可能な医療制度のあり方について深く考察できました。

スウィンバーン工科大学 (オーストラリア) Swinburne University of Technology

澤井 杏 静岡県／2023年入学 留学期間：2025年2月～2025年11月



An SAWAI

左から2番目が澤井さん

「自分らしさの尊重」に触れた留学生活

GC領域で学ぶ中で、AIやテクノロジーを活用したデジタルデザインに興味を持ち、特に「イマーシブ(没入型)メディア」の授業が多く開講されていたこの大学を選びました。メディア業界と連携した実践的な学びや最先端設備とソフトが整う学習環境に加え、芸術文化が息づくメルボルンの環境も魅力的。オーストラリアは多民族・多文化社会のため、誰もが異なるアクセントや話し方で英語を使っており、ファッションや価値観も人それぞれで、自分らしさが尊重される文化に触れられたことは大きな経験でした。また、大学生活では些細なことでも相談しやすい環境や支援が整っていました。穏やかに生きる人々の姿からは、新しい視点や寛容さを学ぶことができました。

留学先で学んだ授業 イマーシブメディアの分析とデザイン

世界各地の没入型体験を分析し、オリジナルの体験デザインを提案する授業が印象的でした。校外学習でメルボルンの美術館やギャラリーを訪れたことに加え、VRやMotion Track Systemを用いた演習で技術も学べたことは大きな刺激となりました。課題発表では学生それぞれの多彩な発想を見ることができ、自分にはない独創的な視点に触れられました。



ベルゲン大学 (ノルウェー) University of Bergen

山田 夏生 神奈川県／2022年入学 留学期間：2024年8月～2025年5月



Natsuki YAMADA

左が山田さん

ベルゲン大学を選んだ理由

AIUで心理学に興味を持ち、その分野をベースに授業を履修したいと思い、ベルゲン大学を選びました。また、心理学から発展してメディア系も学びたいと考えていたため、主専攻とは別の領域の授業も履修できる点が魅力的でした。留学中は日本語学科で日本語を学ぶノルウェー人の学生と出会い、食事をしたり編み物をしたりと多くの時間をともに過ごしました。この交流を通じてノルウェー語を学ぶモチベーションが高まり、留学期間中にスーパーやカフェで注文できるまでに成長しました。

AIUの留学制度の魅力とは

「また帰りたい」と思える居場所ができたことです。留学では現地の気候や習慣を観察し、「現地で暮らす」ことに集中しました。通勤ラッシュ、物価を意識した買い物、休日のハイキングなど、旅行だけでは決して見えない「日常」を体験できました。



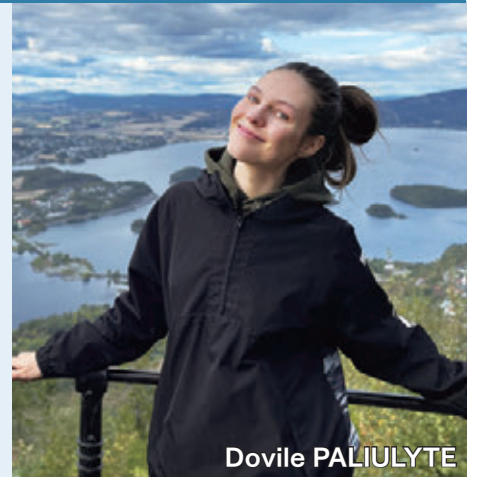
ドヴィレ・パリュリーテ ノルウェー 留学期間：2025年4月～2025年12月

国際教養大学を選んだ理由

AIUは森に囲まれた田園地帯に位置し、四季折々の美しさを満喫できます。また、少人数制のクラス、教授陣が学生を深く理解してくれる姿勢、お互いに支え合うコミュニティのあるAIUで学ぶことは、「教育」の枠にとどまらず、自分自身を成長させ、今後も長く続くつながりを築くための選択肢でもありました。最も印象に残ったのは日本の宗教の授業です。テキストを読み、議論・比較し、唐松神社も訪れました。授業で学んだことを実際に体験する機会は忘れられない思い出となりました。

留学して良かったと思うこと

最も気に入っているのは、キャンパスライフやコミュニティの一部となれることです。家族のように温かい友人と出会い、日本の文化や伝統に触れ、毎日が新しい発見に満ちています。AIUは、学び、成長し、大切な思い出を作る場所となりました。



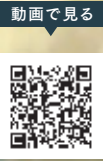
Dovile PALIULYTE

AIU ⇄ 海外の提携大学

多文化共生のキャンパスライフ

Multicultural Campus

30以上の国・地域から集う留学生と “世界の縮図”で送る日々が、人間力を高める



国際教養大学は、世界中に門戸を開く大学です。アジア太平洋地域や欧米諸国はもちろん、中南米やアフリカ大陸からも学生が集います。日本人学生の出身地も全国に広がり、多文化が響き合う環境を形成しています。少人数授業での熱気のこもった対話、寮や宿舎での共同生活、クラブ活動や地域交流活動などを通じた深い交流の中で、誰とでも憶せず語り合い、ともに行動する力を育みます。

キャンパス内
留学生の割合は

4人に1人

30を超える国・地域から年間約200人の留学生が集います。多様な文化が入り交じる「世界の縮図」とも言える環境です。

多彩な学生と
ともに暮らす

全学生の約9割がキャンパス内に居住。共同生活を通じ、グローバル社会で生きる術が自然に身についていきます。

地域と大学を
つなげる

世界中から集まった仲間とともに地域の伝統的な文化行事に参加したり、クラブなどの学生活動に取り組みます。

学生の出身地 | 世界中から留学生が集う、真のグローバルキャンパス

交換留学生の 出身大学所在国・地域別人数

29カ国・地域
174名

※2025年9月1日現在(単位:名)

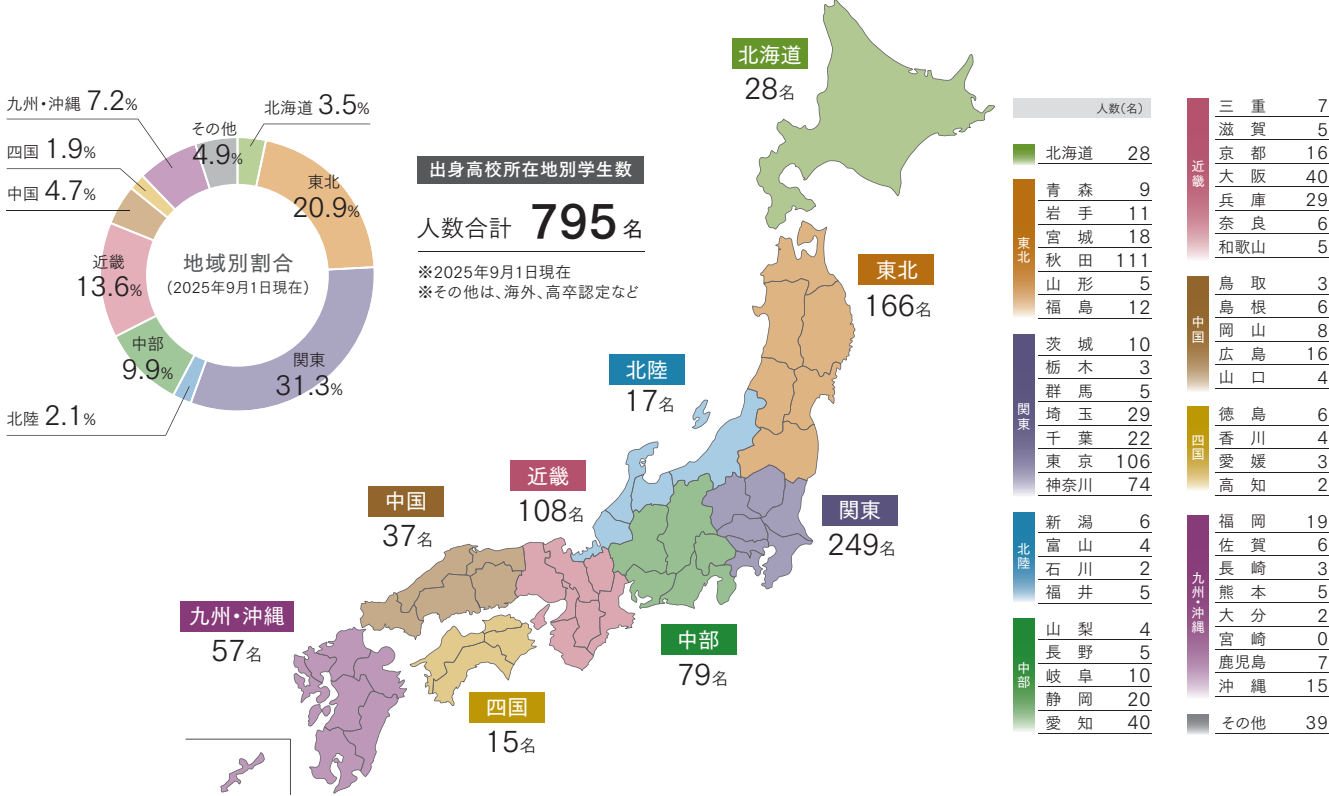
アメリカ	52	フランス	13	カナダ	12	台湾	11
オーストラリア	9	イギリス	7	フィンランド	7	タイ	7
オランダ	7	ノルウェー	6	ドイツ	4	香港	4
スウェーデン	4	スペイン	4	アイルランド	3	ブルネイ	3
韓国	3	イタリア	2	エストニア	2	ニュージーランド	2
モロッコ	2	スイス	2	ベトナム	2	ポルトガル	1
ペルー	1	メキシコ	1	チェコ	1	マルタ	1
ポーランド	1						

正規留学生の国・地域別人数

13カ国・地域
17名

※2025年9月1日現在(単位:名)

アメリカ	3	台湾	2	ミャンマー	2	インド	1
ベトナム	1	インドネシア	1	ウガンダ	1	韓国	1
モーリタニア	1	モンゴル	1	シンガポール	1	ドイツ	1
メキシコ	1						



Student Dormitory and Student Apartments

学生の91%が、キャンパス内の学生寮・学生宿舎で生活

キャンパス内での共同生活も、多様な価値観に触れる大切な機会です。文化・習慣の違いを尊重しつつ、誰もが快適に過ごせるよう、話し合いながら最善の方法を見つけ出す——グローバルリーダーに欠かせない資質の一つです。

ウェブサイトで学生寮・学生宿舎の部屋・設備について詳しく紹介しています。

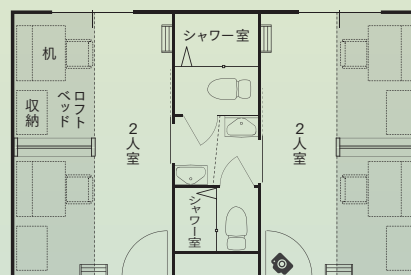


Residence Hall

学生寮〈こまち寮〉

1年次の寮生活が義務

新入生は全員、キャンパス内にある学生寮で生活します。「こまち寮」は最大4人で1つのユニットをシェアする形式です。文化・習慣の違いを理解し、違いを乗り越えるためのコミュニケーション能力を養う1年間となります。また、膨大な時間に及ぶ自主学修と自分らしい生活を両立させる術を身につけていく期間でもあります。ここで培った多文化共生の力は、後の留学でも大いに発揮されます。



※写真は、間取り図のカメラマークの角度から撮影したものです。

ダブル仕様 ※原則、2人部屋として使用

部屋数	160室+バリアフリー4室
間取り	14㎡（居室）
家賃	28,000円～30,000円

※寮生活では、ミールプラン（朝昼夕の食事）の購入が必須となっています。春学期（4か月）と秋学期（4か月）は、ミールプランの食事が提供されます。GW、夏休み、年末年始、冬期間（1月から3月）などの食事は含まれていません。ミールプラン金額：約300,000円（春学期+秋学期）

※家賃：1人あたり／月
※光熱水費、インターネット使用料含む。退去時清掃費用を別途お支払いいただきます。



寮生活が自分を成長させてくれる

1年間の寮生活は、自分の自立をサポートしてくれた重要な要素でした。入学してすぐ、日本語を学習中の留学生との共同生活が始まりました。授業だけでなく自分の部屋でも英語を使うことにはじめは緊張しましたが、どの言語で喋るかのローテーションを作ってコミュニケーションを重ね、親交を深めていくことができました。AIUを目指す皆さんに伝えたいのは、寮生活を自分には高すぎるハードルだとは思わないでほしいということです。入寮したばかりのころはみんな心細さを感じます。しかし、その気持ちを共有できるからこそ、助け合いを経て打ち解けられるのが、AIUの寮生活の素晴らしい点だと考えています。

山路 昊太

埼玉県／2025年入学

Kota YAMAJI

レジデント・アシスタント(RA)

／ 私たちがサポートします！ ／



寮や宿舎では、既に1年間の寮生活を経験した先輩がレジデント・アシスタント(RA)としてともに生活します。RAは、居住者の生活が快適になるように行動し、居住者同士のコミュニケーションが活発に行われるような環境づくりをサポートします。



ウェブサイトでRAの活動を詳しく紹介しています。

Student Apartments

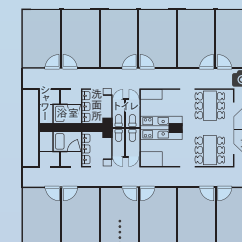
学生宿舎

1年間の寮生活を終えた学生は生活の場を自由に選べますが、ほとんどの学生はキャンパスにとどまり、学生宿舎で生活します。多文化環境で生活する術を身につけた学生たちが、ときに助け合い、ときには刺激し合いながら、共同生活を送っています。

* 学生宿舎は3種類あり、自由に選べます。
ただし、留学生の入居が優先され、入居希望者が定員に達した場合は抽選となります。

つばきヴィレッジ（12名の学生によるシェアハウス形式）

2022年にオープンしたつばきヴィレッジは12の居室と共有スペースを備えた宿舎です。



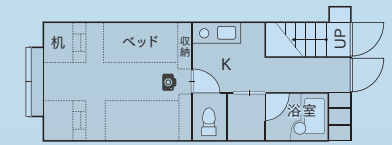
シングル仕様

部屋数	252室+バリアフリー3室
間取り	213㎡（共用部+居室9㎡×12）
家賃	48,000～50,000円

※家賃：1人あたり／月 ※光熱水費、インターネット使用料含む。退去時清掃費用を別途お支払いいただきます。



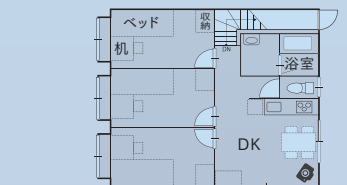
グローバルヴィレッジ



※図面はダブル仕様

	シングル仕様	ダブル仕様
部屋数	100室+バリアフリー4室	92室
間取り	20㎡（K+居室9㎡）	26㎡（K+居室13㎡）
家賃	52,000～54,000円	31,000～33,000円

さくらヴィレッジ（3名の学生によるシェアハウス形式）



シングル仕様

部屋数	105室+バリアフリー2室
間取り	53㎡（DK+居室9㎡×3）
家賃	48,000～50,000円

仲間との交流で学びの多い日々を

ジェンダー論に興味を持っていたため、テーマ別ハウスで「ジェンダー & セクシャリティハウス」が創設されたことを機に入寮しました。ハウスには社会問題に関心がある学生が多く、議論を通して新たな価値観に触れたり、留学生から自国の状況について見解を聞いたりして学びの多い日々を送っています。ジェンダーという急進的なイメージがあるかもしれませんが、このハウスでは日常の違和感について気軽に話すことができます。雰囲気は非常に穏やかで、生活の中で嬉しかったことを共有したりダイニングで一緒に課題に取り組んだりしています。気の置けないメンバーとともに暮らし、ジェンダーについて学ぶ機会を作る経験は、AIUでも貴重だと感じています。

下山 瑞花

兵庫県／2024年入学

Mizuka SHIMOYAMA

多彩な可能性を広げる 進路選択支援

Career Support

主体的な進路選択を後押しする徹底した個別サポート

国際教養大学で培われる統合知と人間力は、一人ひとりの将来の可能性を広げます。その大きな力を、社会のどこでどのように活かすのか、そのビジョンは学生一人ひとり異なるはずです。だから本学のキャリアサポートは、徹底した個別対応。明確な進路を描いている人にも将来像がうまく描けない人にもスタッフがともに考え、各人に最適な進路選択を支えます。

キャリア開発支援は 入学直後から

入学直後から社会人になるまで、さらには将来の転職支援まで、一人ひとりが「いま必要な支援」を提供します。

2024年度就職決定率

99%

誰もが知る大企業から、世界を変革しうるスタートアップ企業まで。業界は幅広く、勤務地も国内外にわたります。

進学先は 世界の大学院

卒業生の11%が国内外の名門大学院へ。希望に沿った進学をアカデミック・キャリア支援センターが支えます。

学生の多様な進路選択を支える拠点

キャリア開発センター

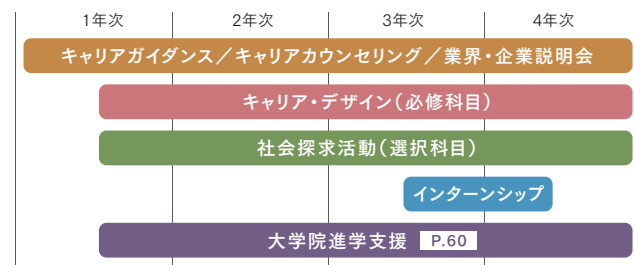
CDC: Career Development Center

就職活動の支援だけでなく、学生一人ひとりのキャリア開発を広く支援する拠点です。在学生に向けたガイダンス・カウンセリングの実施や各種情報提供に加え、卒業生のキャリアアップ支援にも取り組んでいます。



国際教養大学のキャリア開発支援体制

一人ひとりに、必要なときに必要な支援ができる体制



※履修タイミングは自由に決められます。

キャリア開発科目(基礎科目群)

■ キャリア・デザイン(必修科目)

自己分析や労働市場への理解、学生同士や社会人との対話などを通して、自分はどう生きるのか、そのために何をどう学ぶのかを考える機会を提供する授業です。

■ 社会探求活動(選択科目)

自分で探し出した企業・団体で、最低80時間から320時間以上の社会探求活動を行い、働くことの意義に気づくとともに、社会人としてのマナーも身につけます。

キャリア開発・就職支援プログラム

■ キャリアガイダンス(全体)

学生個人のキャリア発達を促すことを目的に、集団で行う講座を全学年を対象に開催します。キャリアとは、単なる「職選び」ではないことが理解できるでしょう。

■ キャリアカウンセリング(個別)

学生の成長度合いに応じた個別支援を、4年間を通じて実施します。漠然とした不安の解消から具体的な就活対策まで、学生とともに考えてアドバイスします。

■ 業界・企業説明会

各業界の動向や具体的な仕事内容を理解するためのイベントを、産業界や官公庁と連携して数多く開催します。低年次からの積極的な参加を期待します。

■ インターンシップ(3省合意に基づくもの)

企業の採用活動にも直結する、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の合意に基づく正規「インターンシップ」に参加する学生をサポートします。

特色ある支援

内定者がホットなアドバイス

就職活動を経験した在学生からなる「キャリアサポーター」が、実体験に基づく支援を提供。エントリーシートなどの添削など就活相談に応じています。



たくましい先輩たちが強力サポート

本学で身につけた力を社会で発揮しながら、現在もキャリアアップに挑んでいる卒業生が、OB・OG訪問の受け入れや卒業生座談会などを通して就活生を支えます。

どこにいても支援が受けられる

留学中の学生や長期休暇で実家に滞在している学生にも、オンラインによる個別相談などを行います。留学先でのジョブフェア情報の提供など、海外での就職活動もサポートします。

企業の人事部門が就活生を支援

各業界を代表する企業の人事部門に依頼して、業界セミナーや模擬面接講座を開催しています。本学と企業の連携により、本学学生にマッチした内容となっています。

Message

スタートラインに立つ前も その後も、あなたと併走します

企業の採用活動は、今後も大きく変わっていきます。画一的な「就活マニュアル」は、もはや役に立ちません。頼りになるのは、この大学で身につけたあなた自身の力です。その力を社会のどんな分野でどのように活かすのかを、自分で選択して主体的に行動できるよう、私たちキャリア開発センターは大学と社会との関係強化に努めるとともに、あなたと一緒に考えてサポートします。就職というスタートラインに立った後のキャリアアップ・キャリアチェンジも含めて、長きにわたるあなたのキャリア開発に私たちが併走します。

就職実績

あらゆる分野で卒業生が活躍しています

幅広い学問領域の知識を統合して問題解決に取り組むことのできる本学卒業生は、活躍の場を限定されることがありません。

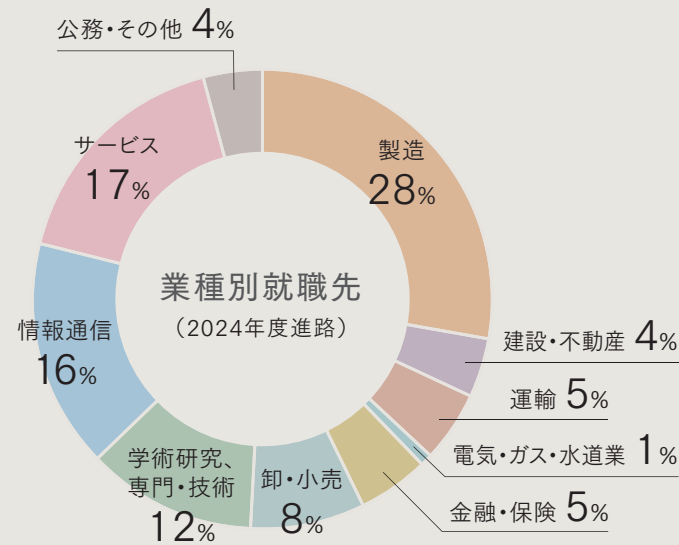
就職先が示す学生の選択

卒業生の進路は、リストに挙げた企業だけではなくありません。可能性を秘めた中小企業やベンチャー企業、学生起業まで実にさまざま。「何がしたいか」を重視して学生自身が選んだ結果です。

活躍の場はボーダレス

入学直後から徹底して英語力を鍛え、外国人教員や留学生との対話を通して異文化コミュニケーション能力を培った卒業生は、言語や文化の壁を超えて世界中で能力を発揮しています。

留学先で日本の技術力を再認識し、日本企業の国際部門を志望する学生が数多くいます。



卒業生の主な就職先 (過去3年分/五十音順)

※2022年度・2024年度卒

IHI	コクヨ	トヨタ自動車	バンダイナムコエンターテインメント
アウトクropp	サイバーエージェント	豊田通商	PwCコンサルティング
秋田銀行	Sansan	日清製粉グループ本社	東日本旅客鉄道(JR東日本)
旭化成	サントリーホールディングス	ニッスイ	日立製作所
アシックス	JFEスチール	日本ガイシ	ヒルトン・ワールドワイド・インターナショナル・ジャパン
アマゾン ジャパン	JTB	日本製紙	古河電気工業
伊藤忠商事	JPモルガン証券	日本製鉄	防衛省
ANA成田エアポートサービス	シチズン時計	日本赤十字社	本田技研工業
AGC	スズキ	日本取引所グループ	マッキンゼー・アンド・カンパニー
沖電気工業	住友金属鉱山	日本郵船	三井住友海上火災保険
外務省	住友商事	日本タタ・コンサルタンシー・サービス	三井物産
カネカ	セイコーウオッチ	日本アイ・ビー・エム	三菱地所
川崎汽船	全国農業協同組合連合会	日本学生支援機構(JASSO)	三菱重工業
キッコーマン	全日本空輸(ANA)	日本経済新聞社	三菱商事
京セラ	双日	日本航空(JAL)	三菱電機
クボタ	ソニー	日本貿易振興機構(JETRO)	三菱UFJ銀行
経済産業省	電通	任天堂	三菱UFJモルガン・スタンレー証券
国際観光振興機構(JNTO)	東海旅客鉄道	ネスレ日本	Meiji Seika ファルマ
国際協力機構(JICA)	東京海上日動火災保険	パイロットコーポレーション	ヤンマーホールディングス
国際協力銀行	東京センチュリー	博報堂DYメディアパートナーズ	ユニリーバ・ジャパン
国土交通省(航空管制官)	東北電力	パナソニック	楽天グループ

社会で活躍する先輩たち

Messages from Alumni

※所属は2025年10月現在のもの



ソニー株式会社

人事総務部門

田中 文菜さん

変化を楽しむ力が
キャリアを広げる

営業・マーケティングを経験後、現在は人事として、社員に向き合い、多様な人材が力を発揮できる組織づくりに取り組んでいます。社員や同僚、そして自分の「得意」や「好き」に強みを見出し活かす視点を大切にしています。AIUでの留学や寮生活で培った環境適応力とコミュニケーション力が、より仕事を楽しくしていると実感しています。



近鉄グループホールディングス株式会社

近畿日本鉄道株式会社(出向中)
創造本部 観光開発・地域共創部

柴谷 友一朗さん

先の見えない取り組みに
主体的行動のマインドで挑む

沿線の観光地へのインバウンド旅客誘致を担当しています。幅広い国のお客様に鉄道利用を促すため、海外向けの情報発信を積極的に行います。AIUでは語学力はもちろん、幅広い分野に興味を持ち、主体的に行動するマインドを習得できました。手探りで進める業務が多いですが、習得したマインドをフルに活用しています。



オイシックス・ラ・大地株式会社

執行役員
経営企画本部 アライアンス室

富田 祥彦さん

課題に主体的に取り組む
態度とスキル

香港の商社を経て、現職は執行役員として全社経営に携わり、特にM&Aと取得後のシナジー創出・事業再成長をリードしています。AIUで学んだ無知の知、批判的思考、論点思考といった「課題に主体的に取り組む態度とスキル」は、国や分野を問わず活かしています。今後もこの学びを存分に活かし、課題解決に邁進したいと思います。



豊田通商株式会社

アフリカ本部トヨタアフリカモビリティ部需給G

塚本 純和さん

アフリカとのビジネスで生きる
柔軟な視点と活力

アフリカ地域に新車を届けるビジネスの中で、お客様の必要な時に必要な車を届けられるよう、需給の調整をしています。AIUの多様な価値観に触れ、自由闊達に議論しあえる環境で培った物事への柔軟な視点と活力が仕事に活きていると感じます。今後も「アフリカの未来の子供たちに何かを残す仕事」をモットーに精進していきます。



サントリー株式会社

スピリッツ本部リキュール・スピリッツ部

上田 紗帆さん

多様な人々と成し遂げる
醍醐味とやりがい

お酒のブランドマーケティング・工場PR体験設計を担当。多様な価値観を持った仲間と共に一つのことをやり遂げたAIUや留学先での経験が、会社や部署を超えて色々な背景をもった人々を巻き込み、思い描いた企画を具体的な形にする仕事に活かされます。それが、お客様の心に残る幸せな時間へとつながり、やりがいを感じています。



P&Gジャパン合同会社

SK-IIトラベルリテール 営業

市川 史織さん

多角的な視点とコミュニケーション力で
物理的な距離を超える

様々な文化や背景のあるシンガポールのチームと免税店向け営業をしています。留学で身に付けた柔軟な環境適応能力と、多様な学生との交流から得た多角的な視点を活かし、相手を理解しながらの双方向コミュニケーションを心がけています。結果として、メンバーとの信頼関係も深まり、日本にいながら国を超えた仕事を続けられています。

リベラルアーツを土台に、さらに高度な専門性を

本学で身につけた幅広い知識を土台にして、高度かつ専門的な学修・研究を志す学生の大学院進学を支援します。これまでに多くの学生が国内外の大学院・専門職大学院に進学しています。大学院進学を検討している学生に対し、アカデミック・アドバイザーの教員と連携した個別支援や、適切な情報提供などを通じた支援を行っています。

アカデミック・キャリア支援センター ACSC Academic Career Support Center

進路相談

個別またはグループでの相談に応じています。内容は、進路目標や関心分野の明確化、費用や奨学金の紹介、出願に向けた具体的な助言など多岐にわたります。

講習会

大学院進学を検討している学生に対し、アカデミック・アドバイザーの教員と連携した個別支援や適切な情報提供などを通じた支援を行っています。

講演会「先輩ゼミ」

国際教養大学の学部を卒業した後、大学院に進学した現役の大学院生や大学院の修了後に研究者や社会人として活躍している先輩を招き「研究分野の紹介」「研究課題を決めるプロセス」「最新の研究内容」などを紹介していただく『先輩ゼミ』を開催しています。

分野横断と専門性を両立した進学支援

分野横断的な学びを基盤としつつ、特定分野の高度な専門性を段階的に追求できます。学際的視点をもつ各領域の卓越した教員が、人文・社会・自然科学など専門性の高い大学院進学に対応し、進学先選択から研究計画、出願準備までを総合的に支援します。

AIUの大学院進学モデル

学士課程

修士課程

博士課程または就職

グローバル・ビジネス領域

統計学
微積分学
線形代数学
経済データ分析
ミクロ経済学
マクロ経済学
計量経済学
環境経済学
公共経済学 など

GB

グローバル・スタディーズ領域

政治学
社会学
政治思想概論
文化人類学
国家と市場
国際安全保障
国際関係論
国際法と国際機構
国際協力・開発論 など

GS

グローバル・コネクティビティ領域

言語学
社会言語学
教養数学
西洋思想文化
東洋思想文化
心理学
科学コミュニケーション
応用言語学
修辞学 など

GC

1年間の留学

卒業研究

大学院進学準備

学際的カリキュラムから
自分の関心分野を
見つける

リベラルアーツの学際的カリキュラムを活用し、人文科学・社会科学・自然科学の基礎科目を幅広く履修することで、多角的な視点を養います。さらに、各分野の理論や方法論を比較しながら、自身が継続的に探究したい問いや関心領域を明確化し、大学院進学に向けた専門分野の方向性を定めます。

留学先の提携大学で
関心分野の学びを
深める

留学先の提携大学では、事前に定めた関心分野に関連する専門性の高い科目を重点的に履修します。現地での教育手法や研究文化に触れ、討論や課題等を通じて学術的思考力を強化するとともに、指導教員や学生との交流から研究テーマの具体化を図ります。

進学の目標設定と
出願準備・大学院を
見据えた卒業研究

留学経験を踏まえ進学先大学院の分野や地域を明確にし、必要な語学力や研究実績を準備します。卒業研究では大学院での研究につながるテーマを設定し、先行研究の読解や方法論の訓練を通じて、出願時に評価される研究能力を身につけます。

卒業

アメリカ	シカゴ大学大学院	経営管理
イギリス	ダラム大学大学院	会計学
イギリス	ノッティンガム大学大学院	経済学
イギリス	ロンドン大学政治経済学院 (LSE)	地域都市計画学
オーストラリア	メルボルン大学大学院	ビジネスと経済
フランス	INSEAD	経営学
フランス	パリ第一大学大学院	開発経済
日本	大阪大学経済学研究科	法学

アメリカ	イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校大学院	社会学
アメリカ	ジョージ・ワシントン大学エリオット国際関係大学院	国際関係
アメリカ	ミシガン大学大学院	環境とサステイナビリティ
イギリス	オックスフォード大学大学院	現代日本研究
イギリス	ケンブリッジ大学大学院	教育学
イギリス	ロンドン大学東洋アフリカ研究学院	開発学
スイス	ジュネーヴ国際・開発研究大学院	国際開発
韓国	ソウル大学大学院	韓国学

ドイツ	ザールラント大学大学院	言語科学技術
フィンランド	タンペレ大学大学院	計算機科学・電気工学
日本	京都大学大学院	哲学

博士課程

オックスフォード大学大学院
大阪大学大学院
東京大学大学院
セント・アンドリューズ大学大学院
ウィスコンシン大学マディソン校大学院
マルメ大学大学院 など

大学／研究・開発機関／国際機関

東京大学大学院
国際教養大学
防衛研究所
日本エネルギー経済研究所
国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)
国際移住機関 (IOM)
国際連合教育科学文化機関 (UNESCO)
独立行政法人国際協力機構 など

企業

三菱地所株式会社
合同会社デロイト トーマツ
三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
ベイン・アンド・カンパニー・ジャパン
株式会社電通総研 など

海外大学院進学者の声
Message from Graduate Student

シカゴ大学ブース経営大学院(アメリカ) 経営学修士(2025年6月修了)
Master in Management



グローバルなビジネスの世界で通用する力と人脈を蓄える

新橋 美紀さん
2024年3月卒業(栃木県)

AIUでグローバルビジネスを専攻し、さらに体系的かつ実践的な学びを求め、大学院への進学を決意しました。進学先を選ぶ決め手は、柔軟なカリキュラム、世界トップレベルの研究力と実務経験を持つ教授陣、そして充実した卒業生ネットワークです。大学院では学業に加え、ネットワーキングにも注力し、多様なバックグラウンドを持つ優秀な学生との交流を通じて、グローバルに活躍するための貴重な人脈を築きました。AIUで培ったビジネスの基礎知識は大学院での高度な学びの土台となり、専門性の高い授業内容も深く理解でき、難易度の高いテーマにも自信を持って取り組みました。また、留学で養われた高い適応力のおかげで新環境にも円滑に順応でき、より一層学業に集中できたと実感しています。

大学院合格実績			
		※2022年度-2024年度	
地域	進学先		大学院の専攻
北アメリカ	アメリカ	シカゴ大学大学院	経営管理
	アメリカ	ジョージタウン大学エドモンドA.ウォルシュ外交学院	外交
	アメリカ	ジョージワシントン大学、エリオット国際関係大学院	国際関係
	アメリカ	イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校大学院	社会学
	アメリカ	ミシガン大学大学院	環境とサステナビリティ
	アメリカ	インディアナ大学大学院	日本語教育学
	アメリカ	ウィスコンシン大学マディソン校大学院	日本語教育学
ヨーロッパ	イギリス	サセックス大学大学院	ジェンダーと開発
	イギリス	ロンドン大学東洋アフリカ研究学院	開発学、政治学、国際関係学ほか
	イギリス	ドラム大学大学院	会計学
	イギリス	ノッティンガム大学大学院	経済学
	フランス	パリ第1大学大学院	開発経済
	イタリア	パドゥア大学大学院	地域開発
	スイス	ジュネーヴ国際・開発研究大学院	国際開発研究
	ドイツ	ザールラント大学大学院	言語科学技術
	デンマーク	オーフス大学大学院	人間の安全保障
	フィンランド	タンペレ大学大学院	計算科学と電気工学
オセアニア	オーストラリア	メルボルン大学大学院	ビジネスと経済
	オーストラリア	ニューサウスウェールズ大学大学院	会計学
	オーストラリア	アデレード大学大学院	会計学
アジア	韓国	延世大学大学院	メディア・コミュニケーション
	台湾	国立中山大学大学院	教育学
	日本	北海道大学大学院	教育学
	日本	東北大学会計大学院	会計学
	日本	東京大学大学院	森林科学、教育学、法学
	日本	一橋大学大学院	公共政策
	日本	京都大学大学院	哲学
	日本	国際教養大学専門職大学院	日本語教育実践、英語教育実践
(ジョイント学位)	日本・ドイツ	京都大学大学院 & ハイデルベルク大学大学院	越境文化学

国内外の大学院との連携

国内外の大学院との連携により、優先出願、1年修士課程、推薦入学、大学院授業料減免などの制度を設けています。

ロンドン大学東洋アフリカ研究学院との連携

ロンドン大学東洋アフリカ研究学院は、QS世界大学ランキング（2025年）第5位の国際開発学専攻などを擁するヨーロッパの名門大学の一つです。修士課程は1年間。本学の基準を満たした卒業生は、ロンドン大学東洋アフリカ研究学院修士課程に優先出願できます。



ロンドン大学東洋アフリカ研究学院

アリゾナ州立大学サンダーバード
グローバル経営大学院
(ASUサンダーバード)との連携

2023年にビジネスから公共政策、データサイエンスまで多岐にわたる専門分野を有するASUサンダーバードと協定を結びました。AIUを卒業後、ASUサンダーバードで1年間学ぶことで、AIUの学士号とASUサンダーバードの修士号を5年間で修得できます。



アリゾナ州立大学サンダーバードグローバル経営大学院

奈良先端科学技術大学院大学
(NAIST)との連携

2023年度にNAISTとの包括協定を締結しました。所定の基準を満たす学部卒業生は、NAISTの先端科学技術研究科先端科学技術専攻(情報科学区分、バイオサイエンス区分、物質創成科学区分)のいずれかに推薦入学制度を利用して出願できます。2027年春入学から、英語能力基準を満たす場合に入学年度の授業料が全学免除となる協定大学資格特待生制度も新設されます。



奈良先端科学技術大学院大学(NAIST)

国際大学(IUJ)との連携

国際大学(IUJ)は新潟県にある大学院大学で、国際関係学研究科と国際経営学研究科を設置しています。AIUで学んだ学問をさらに深く追求できる専攻があり、国際経営学研究科にはアメリカのThe Association to Advance Collegiate Schools of Business (AACSB)認可を受けたMBA プログラムもあります。世界各国の多様な背景を持つ約380名の学生に対し、全課程を英語で提供しています。AIUとの提携により、AIU卒業生が国際大学の入学試験に合格した場合、年間授業料の全額免除または70%減免が適用されます。



国際大学(IUJ)

専門職大学院の概要

国際教養大学は、国際社会で活躍するための実践力をさらに高める場として、専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科を設置しています。同研究科は3つの領域を持ち、それぞれ英語教育、日本語教育および国際報道・広報・交渉などの分野に長年従事してきた実務経験豊富な教員から、世界の第一線で活躍するうえで必要となる知識を修得し、専門家としてのスキルを磨くことができます。

研究科名 専攻名	グローバル・コミュニケーション実践研究科 グローバル・コミュニケーション実践専攻	研究科長・専攻長： 内田 浩樹
領域名／ 学位名称	英語教育実践領域／英語教育修士（専門職）	領域代表：内田 浩樹
	日本語教育実践領域／日本語教育修士（専門職）	領域代表：左治木 敦子
	発信力実践領域／発信力実践修士（専門職）	領域代表：谷川 幹
標準修業年限	2年	
入学定員	30名	

英語教育実践領域(ELT) English Language Teaching Practices	英語教育理論を教育現場に 応用する具体的方策	4技能を育む 実践的な指導論	学習者の意欲を 高めるアプローチ
	理論をいかにして実際の教室に応用しうるかを徹底して議論します。英語指導上の問題発見能力を身につけ、問題への具体的なソリューションを提案し、実践できる教員を養成します。 教員専修免許状(英語)の取得が可能です。		
日本語教育実践領域(JLT) Japanese Language Teaching Practices	外国語としての日本語教育に必要な 音声学・統語論・外国語教授法・評価法・ 第二言語習得理論・語彙などの理論科目	3期にわたる実習実践を通した 理論の応用と教育方法の修得	
	高度な専門知識と教授技術を身につけ、かつ英語でのコミュニケーション能力を持った日本語教師を養成します。国内に限らず海外の日本語教育機関においても活躍できる日本語教師の養成を目指しています。 「登録実践研修機関及び登録日本語教員養成機関」としても登録されています。		
発信力実践領域(GCP) Global Communication Practices	広報とメディアに関する 理論と実践	ディベート、国際交渉、 通訳のスキル	新聞記事などの メディアコンテンツの作成
	メディアと国際社会との関係を深く理解し、ジャーナリズム、国際広報、そして国際ビジネスに要する高度なコミュニケーションの実践的能力を身につけた「グローバル人材」を養成します。		

専門職大学院の選考・学費

2027年度 入学者の 選考日程	■秋選考(2027年4月または9月入学) 2026年9月1日(火)～9月9日(水)	■冬選考(2027年4月または9月入学) 2026年11月30日(月)～12月9日(水)	■春選考(2027年9月入学) 2027年4月8日(木)～4月16日(金)
選考方法	入学者の選考は、書類選考のみにより行います。志望理由および学修計画書、推薦状、英語能力・日本語能力などを総合的に判断して選考します。		
入学金 (初年度のみ)	県内学生 282,000円	県外学生 423,000円	
授業料 (年間)	896,000円		



専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科 教員一覧

英語教育実践領域(ELT)

 グローバル・コミュニケーション実践研究科長・専攻長／ 英語教育実践領域代表／教授【日本】 内田 浩樹 Hiroki UCHIDA 修士／南山大学 ■英語教育	 教授【アメリカ】 クリストファー・カール・ヘイル Christopher Carl HALE 博士／ノースイースタン大学 ■アクションリサーチ、第二言語習得	 教授【日本】 町田 智久 Tomohisa MACHIDA 博士／イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校 ■小学校英語教育、教師教育、外国語不安
 教授【アメリカ】 クレイ・ウィリアムス Clay WILLIAMS 博士／アリゾナ大学 ■心理言語学、視覚的言語処理		

日本語教育実践領域(JLT)

 日本語教育実践領域代表／教授【日本】 左治木 敦子 Atsuko SAJIKI 博士／インディアナ大学 ■日本語教授法、日本語教師養成	 教授【日本】 堀内 仁 Hitoshi HORIUCHI 博士／テキサス大学オースティン校 ■言語学、日本語教育	 准教授【日本】 萩原 章子 Akiko HAGIWARA 博士／アイオワ大学 ■第二言語習得、視覚的・聴覚的言語処理
 准教授【日本】 犬飼 康弘 Yasuhiro INUKAI 修士／広島大学 ■日本語教育、教師の成長過程	 特命教授【日本】 伊東 祐郎 Sukero ITO 修士／西イリノイ大学 ■日本語教育学、応用言語学(テストング・評価)	

発信力実践領域(GCP)

 発信力実践領域代表／教授【日本】 谷川 幹 Miki TANIKAWA 博士／テキサス大学オースティン校 ■国際メディア、グローバルコミュニケーション	 特任教授【日本】 山村 公一 Koichi YAMAMURA 博士／マイアミ大学 ■パブリックリレーションズ	 客員教授【日本】 清宮 徹 Toru KIYOMIYA 博士／ミシガン州立大学 ■組織コミュニケーション、組織ディスコース
 客員教授【日本】 小西 克哉 Katsuya KONISHI 修士／東京外国語大学 ■アメリカ政治過程論、外交、会議通訳	 客員准教授【日本】 藤井 京子 Kyoko FUJII 学士／慶應義塾大学 ■アメリカのM&A史	

国際教養大学 専門職大学院の詳細については「大学院案内」をご覧ください。

大学ウェブサイトより請求可能です。

お問い合わせ先 >> 国際教養大学 アドミッションズ・オフィス TEL:018-886-5931 E-MAIL:grad@gl.aiu.ac.jp



多様な人材を発掘する入試制度

Admissions

定員／国際教養学部175名

向上心とチャレンジ精神にあふれる多様な学生と出会うために

多彩な能力や資質を備えた学生と出会うために、個性的な入試を数多く実施しています。「ギャップイヤー入試」「グローバル・ワークショップ入試」といった本学独自の入試を導入し、グローバルリーダーを目指す向上心や挑戦する気概を持った学生の発掘に努めています。入学時期は、4月と9月の年2回。10月の特別選抜から最大4回の受験チャンス进行、熱意あふれる皆さんの挑戦をお待ちしています。

すべて
Web出願

入試日程 Admissions Schedule

2026年		2027年					
7月	9月	10月	11月	1月	2月	4月	9月
特別選抜試験 P.69 ●総合選抜型入試Ⅱ	9月入学	特別選抜試験 P.68 ●グローバル・セミナー入試 ●グローバル・ワークショップ入試 ●総合選抜型入試	特別選抜試験 P.68 ●学校推薦型入試 ●社会人入試 ●編入学・転入学試験 特別選抜試験 P.69 ●ギャップイヤー入試 ●国際入試	大学入学共通テスト	一般選抜試験 P.70 ●A日程 ●B日程	4月入学	9月入学

本学のA・B日程は、他の国公立大学の前期日程の前に実施しています。

OPEN CAMPUS

2026年度オープンキャンパス開催日程

第1回 7月19日 日

第2回 9月20日 日

詳細はコチラ



Sakura HIRANO

平野 さくら
東京都／2025年入学

入試タイプ グローバル・
ワークショップ入試

受験を通じて自分の軸が確立し 自己理解と将来像が明確に

高校でオーストラリア留学を経験していたことから、グローバル・ワークショップ入試なら自分をより多角的にアピールできると考え、挑戦を決めました。大切にしていたのは、自分の軸を持続けること。特に自己アピール書は「なぜAIUの学びが必要なのか」自分に何度も問いかけることを意識。作った文章を学校や塾の先生方、家族・先輩・友人に添削をしてもらうことで、表現の癖や先入観に気付き、新しい視点を得られ、「自己理解の深化」と「自分の将来の可視化」につながりました。この準備は、ワークショップでの「周りの意見を尊重しながら目標達成へ導く姿勢」にもいかすことができました。ぜひ、自己と向き合うチャンスと捉えて挑戦してみてください。



Chise TAKATA

高田 知世
石川県／2025年入学

入試タイプ 学校推薦型入試

日々の取り組みや描いたビジョンが アピールポイントになる

高校で被災地での災害ボランティアや地域のまちづくりに携わった経験から、人とのつながりを活かしてさまざまな地域課題の解決に取り組みたいという思いがありました。AIUのカリキュラム・ポリシーは私の求めている学びと合致していて、チャレンジすること自体が自身の成長につながると思い、学校推薦型入試を選びました。対策としては、英語に慣れるため英会話の練習を毎日行いました。小論文は週に2つのペースで過去問を解き、徹底的にリライトすることで、わかりやすい論理構成を会得しました。日々取り組んでいることや考えていることは、必ずあなたの魅力を伝える素材になります。入試でそれを存分に表現してください。



Mana SUGIHARA

杉原 愛菜
島根県／2025年入学

入試タイプ 一般選抜A日程

本番で実力を発揮するため 粘り強く挑むことが大切

私の通っていた高校では共通テスト対策に重点が置かれており、共通テストの得点が重視される一般選抜A日程は、自分に最も適した入試方式でした。英語小論文の対策は、まず過去問を解いて作問の意図を理解することから始め、簡単なトピックから書く練習を行い、徐々にテーマの難易度を上げていきました。高校や塾の先生に添削してもらったことも効果的でした。解答が問いに的確に答えられているか客観的に確認でき、異なる視点からの気付きも得られました。大学受験のポイントは「自分をよく知ること」。興味・関心や価値観の自覚は志望校選びに役立ち、自分に合った勉強法やリフレッシュ法の発見はモチベーションの維持になります。粘り強く挑んでください。



Konosuke HONDA

本田 光之介
山形県／2025年入学

入試タイプ 一般選抜B日程

意識したのは丁寧な情報収集と 基礎固めを重視した受験対策

他大学の入試日程などを考慮して、一般選抜B日程を受験しました。3教科に絞って勝負できること、二次試験の配点が高く、その対策に注力できることが魅力でした。二次試験対策の長文読解では各段落のトピックを端的に把握し、どの文が要点で、どれが根拠かを俯瞰的に捉えることに注力しました。また、受験で不利になる状況や入学後のミスマッチを防ぐため、日ごろから情報収集することも心がけました。受験生の皆さんに、ハンナ・アーレントの「思考しないことこそが最大の悪である」という言葉を贈ります。大切なのは、知識の習得に留まることなく常に「なぜ？」と問い続ける前向きな姿勢。それこそが激動の時代を生き抜く羅針盤となるはずです。

入試制度一覧

特別選抜試験(2027年4月入学)

大学入学共通テストを利用しない試験

入試の種類と定員	●併願 ★専願	概要と出願資格など	英語資格	個別テスト等	試験日
グローバル・セミナー入試 (15名)	●	秋田県内の高校生を対象とした制度です。年2回開催するグローバル・セミナーで作成・提出した2点のレポート、面接、高等学校の調査書や自己アピール書などにに基づき、総合的に評価します。 ●出願資格・要件 →秋田県内の高校生で、最終年次在籍時に2026年度グローバル・セミナーに1回以上参加した者	不要	●面接 (日本語・英語) 会場 秋田	2026年 10月17日(土)
グローバル・ワークショップ入試 (10名)	★	自己アピール書、調査書、グローバル・ワークショップで作成・提出したレポート、同ワークショップでの活動および面接に基づき、総合的に評価します。 ●出願資格・要件 →2026年度グローバル・ワークショップに参加した者			
総合選抜型入試 (10名)	★	書類選考により、高い英語能力または海外での経験を評価するとともに、英語小論文と面接により、読解力、表現力、論理的思考力および学習意欲を評価します。 ●出願資格・要件:次のいずれかに該当する者 →右記の英語資格を有する者 →高校在学中に1年程度留学し、30単位程度認められた者 →日本国内において国際バカロレアのDiploma Programを修了し、最終試験6科目に合格した者	いずれか1つ TOEFL iBT® TEST 61 TOEIC® (L&R+S&W) TEST 1100 英検準1級 GTEC Advanced 1000 TEAP 300 IELTS™ バンド6.0 他	●面接 (日本語・英語) ●筆記試験 (英語小論文) 会場 秋田	2026年 10月17日(土) 18日(日)
学校推薦型入試 (35名)	★	書類選考により、幅広い基礎学力を十分に備えているか、課外活動などに特に積極的に取り組んだか、英語能力が一定の水準以上であるかなどを評価するとともに、英語小論文と面接により、読解力や表現力、論理的思考力および学習意欲を評価します。 ●出願資格・要件: 次のいずれかに該当する者 →高等学校長の推薦、全体の学習成績の状況4.0以上、右記の英語資格を有する者 →高等学校長の推薦、学業やスポーツ、文化活動などの特定分野で、国際大会出場あるいは日本国内の全国規模の大会等で優秀な成績を修めた者(英語資格要件なし)	いずれか1つ TOEFL iBT® TEST 45 TOEIC® (L&R+S&W) TEST 840 英検2級 GTEC Advanced 800 TEAP 230 IELTS™ バンド5.5 他		2026年 11月28日(土) 29日(日)
社会人入試 (若干名)	★	一定の年齢に達した社会人を対象とした制度です。書類選考により、英語能力が一定の水準以上であるかなどを評価するとともに、英語小論文と面接により、読解力や表現力、論理的思考力および学習意欲を評価します。 ●出願資格・要件 →入学時に23歳以上で、右記の英語資格を有する者	いずれか1つ TOEFL iBT® TEST 45 TOEIC® (L&R+S&W) TEST 840 英検準2級 IELTS™ バンド5.0 他		
編入学・転入学試験 2年次(7名)	●	国内外の大学、短大などを卒業、または1年以上(3年次は2年以上)在籍した方を対象とした制度です。書類選考により、本学への編入に足る学力を十分に備えているか、英語能力が一定の水準以上にあるかなどを評価するとともに、英語小論文と面接により、読解力や表現力、論理的思考力および学習意欲を評価します。 ●出願資格・要件 →大学、短大、高等専門学校、専修学校の専門課程を卒業した者、または2027年3月までに卒業見込みの者。あるいは大学において1年以上(3年次は2年以上)在学した者、または2027年3月までに要件を満たす者 →ただし、3年次の場合、高等教育機関における2年以上の学修を英語で行った者(うち、少なくとも1年間は海外の高等教育機関で学修した者)に限る。	いずれか1つ TOEFL iBT® TEST 71 (3年次は79) IELTS™ バンド6.5	●面接 (日本語・英語) ●筆記試験 (英語小論文) 会場 秋田	2026年 11月28日(土) 29日(日)
編入学・転入学試験 3年次(1名)	●				

※詳細は、「入学者選抜要項」および各試験の「学生募集要項」をご覧ください。

※TOEFL iBT® TESTのスコアスケール変更後の英語資格基準については、「入学者選抜要項」「学生募集要項」をご覧ください。

特別選抜試験(2026年9月入学)

大学入学共通テストを利用しない試験

入試の種類と定員	●併願 ★専願	概要と出願資格など	英語資格	個別テスト等	試験日
総合選抜型入試Ⅱ (5名)	★	書類選考により、高い英語能力または海外での経験を評価するとともに、英語小論文と面接により、読解力、表現力、論理的思考力および学習意欲を評価します。 ●出願資格・要件:次のいずれかに該当する者 →右記の英語資格を有する者 →高校在学中に1年程度留学し、30単位程度認められた者 →日本国内において国際バカロレアのDiploma Programを修了し、最終試験6科目に合格した者	いずれか1つ TOEFL iBT® TEST 61 TOEIC® (L&R+S&W) TEST 1100 英検準1級 GTEC Advanced 1000 TEAP 300 IELTS™ バンド6.0 他	●面接 (日本語・英語) ●筆記試験 (英語小論文) 会場 秋田	2026年 7月25日(土) (2026年 9月1日入学)

特別選抜試験(2027年9月入学)

大学入学共通テストを利用しない試験

入試の種類と定員	●併願 ★専願	概要と出願資格など	英語資格	個別テスト等	試験日
ギャップイヤー入試 (5名)	★	4月～8月までのギャップイヤー期間に行う独自の活動について計画書を提出し、面接を通して問題意識や意欲を評価します。 ●出願資格・要件 →高等学校または中等教育学校を卒業した者または2027年3月までに卒業見込みの者。または通常の12年の学校教育を修了した者および2027年3月までに修了見込みの者	不要	●面接 (日本語・英語) ●筆記試験 (英語小論文) 会場 秋田	2026年 11月28日(土) 29日(日)
国際入試 (5名)	★	国内外で学校教育における12年の課程を修了した方を対象とした制度です。書類選考及び英語面接により、幅広い基礎学力を十分に備えているか、英語能力が一定の水準以上であるかなどを評価するとともに、志願理由書等により学習意欲を評価します。 ●出願資格・要件:次のすべてに該当する者 →各国の大学入学資格を満たしている者 →右記の英語資格を有する者	いずれか1つ TOEFL iBT® TEST 61 TOEIC® (L&R+S&W) TEST 1100 英検準1級 GTEC Advanced 1000 TEAP 300 IELTS™ バンド6.0 他	●面接(英語) オンライン	2026年 11月28日(土)

※詳細は、「入学者選抜要項」および各試験の「学生募集要項」をご覧ください。

入試制度一覧

一般選抜試験(2027年4月入学)

大学入学共通テストを利用する試験

1次試験として大学入学共通テストを課し、2次試験として個別学力検査を実施します。

本学のA・B日程と、他の国公立大学の前・中・後期日程は併願することができます。

入試の種類と定員	●併願 ★専願	概要と出願資格など	個別テスト等	試験日	会場
A日程 (55名)	●	大学入学共通テスト(6教科) ●国語 ●外国語(『英語』)リーディングおよびリスニング ●地理歴史・公民(『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から1科目 または、『地理総合/歴史総合/公共』の3つの出題範囲から、2つを選択解答) ●数学(『数学I』、『数学I、数学A』、『数学II、数学B、数学C』から1科目) ●理科(『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1科目 または『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』の4つの出題範囲から、2つを選択解答) ●情報(『情報I』)	●筆記試験 (国語・英語)	2027年 2月6日(土)	秋田・札幌・ 仙台・東京・ 名古屋・ 大阪・福岡
B日程 (40名)	●	大学入学共通テスト(3教科) ●外国語(『英語』)リーディングおよびリスニング ●次の①～⑤から2教科選択 ①国語 ②地理歴史・公民(『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から1科目 または、『地理総合/歴史総合/公共』の3つの出題範囲から、2つを選択解答) ③数学(『数学I』、『数学I、数学A』、『数学II、数学B、数学C』から1科目) ④理科(『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1科目 または『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』の4つの出題範囲から、2つを選択解答) ⑤情報(『情報I』)		2027年 2月20日(土)	

英語資格保持者への 特例措置

一般選抜試験において、次のいずれかの英語資格試験のスコアまたは等級を保持する者については、受験した大学入学共通テストの英語科目を満点と換算し、可否判定します。(TOEFL iBT® TEST 72点以上、TOEIC® Listening & Reading TestとTOEIC® Speaking & Writing Testsの合計1200点以上、英検準1級以上、英検S-CBT(1 day) 準1級以上、英検S-Interview(2 day)準1級以上、IELTS™ バンド6.5以上、GTEC CBT 1200以上、GTEC Advanced 1200以上、TEAP 360以上、TEAP (CBT)760以上、ケンブリッジ英語検定 B2 FirstおよびB2 First for Schools 176点以上)

特別科目等履修生制度

一般選抜試験において合格に至らなかった受験生のうち、成績優秀者で、学習意欲に満ち、本学への入学を強く希望する方を「特別科目等履修生」として登録します。
1年間、正規学生と同様に単位を取得し、年度末に編入学試験を経て、次年度に正規生(2年次)となることのできる制度です。

科目等履修生および聴講生について

本学では、正規学生と一緒に本学の授業を履修する科目等履修生と聴講生を受け入れています。
履修可能科目、出願資格、受講料などの詳細は、アドミッションズ・オフィスまでお問い合わせください。

2027年度入学における国際教養大学および国公立大学の一般選抜試験日程

2027年	国際教養大学		他の国公立大学	
	A日程	B日程	前期日程	中・後期日程
1月	大学入学共通テスト 1/16・17			
	出願受付 1/8～1/21	出願受付 1/8～2/3	2次試験出願受付 1/25～2/3	
2月	試験日 2/6			
	合格発表 2/15	試験日 2/20		
	入学手続 2/16～2/20		前期日程試験 2/25～	
		合格発表 2/27		
3月		入学手続 2/28～3/5	合格発表 3/6～3/10	中期日程試験 3/8以降
			入学手続 ～3/15	後期日程試験 3/12以降
			合格発表 3/20～3/24	
			入学手続 ～3/27	

AIUを知る受験生向けイベント

Experience AIU

国際教養大学の魅力をより深く理解していただくために、全国の複数都市で体験型の説明会を開催します。当日は国際教養教育の説明や体験授業など本学の魅力を体感できるプログラムをご用意しています。

進学ガイダンス

本学では日本全国の進学ガイダンス等に参加しています。詳細は各主催業者のウェブサイトよりご確認ください。

入学試験情報の詳細は、「入学者選抜要項」および各試験の「学生募集要項」をご覧ください。

入学試験に関するお問い合わせ先

〒010-1292 秋田県秋田市雄和椿川字奥椿岱 国際教養大学 アドミッションズ・オフィス
TEL:018-886-5931 FAX:018-886-5910 E-MAIL: ugrad@gl.aiu.ac.jp

受験生応援サイト



最新の入試情報は、
こちらをご覧ください。

学費

Tuition

入学金

(初年度のみ)

県内
学生

282,000円

県外
学生

423,000円

授業料

(年間)

896,000円

入学金＋授業料

1,319,000円

〔秋田県出身者 1,178,000円〕

授業料の減免

本学は、高等教育の修学支援新制度の対象校です。この制度の適用者には、入学金、授業料の減免があります。また、この制度の申請対象外の学生には、大学独自の減免制度があります。減免額の詳細については、本学ウェブサイト

を参照してください。

留学中の学費

授業料は相互免除(P.44)

学費・授業料の減免について

詳細はこちらをご覧ください。



Question

入学金と授業料を除き、
最初の年にはどのくらい
お金がかかりますか？

Answer

約90万円です。

※インバウンド付帯学総加入者は約95万円です。

経費内訳 (2026年度予定額)

寮 費

622,900円

寮費には以下の費用を含みます

- 11.5カ月分の家賃
- ミールプラン(朝昼夕の食事)費用
(ゴールデンウィーク、夏休み、年末年始、
冬期間[1月から3月]などの食事は含まれていません。)
- 光熱水費
- インターネット使用料
- 退去時清掃費

その他

約280,000円

※インバウンド付帯学総加入者は約32万円

その他には以下の費用を含みます

入学時諸経費

- 学生活動費 60,000円
(1年間の留学期間を除く在学期間分。
今後、増額する可能性あり。)
- 「親の会」会費 20,000円(在学期間分)
- 学研災・学研賠保険料 4,660円
- インバウンド付帯学総保険料 43,400円
※在留資格「留学」により、日本に滞在する留学生のみが対象となる保険です。

教科書代・テスト受験料

- 教科書代 50,000円～70,000円程度／学期
- 英語能力テスト受験料 50,000円前後

奨学寄附金

国際教養大学では、「学生、留学生等への奨学支援」「本学における教育活動への支援」などを目的として、「奨学寄附金」をお願いしています。寄附金は常時受け付けておりますので、ぜひご協力をお願い申し上げます。なお、寄附金には公立大学法人への寄附として、免税措置が講じられます。



国際教養大学 寄附金担当

TEL:018-886-5900

FAX:018-886-5910

E-MAIL:generalaffairs@aiu.ac.jp

奨学金

Financial Aid

在学生には、以下の制度について紹介するとともに、奨学金の相談に応じています。
また、ご寄附により、国際教養大学独自の奨学金制度を設けて学生をサポートしています。

AIU独自奨学金(給付)

名 称	金 額	資 格
AIU留学時成績優秀者 報奨奨学金(一時金)	100,000円	当該学期の翌学期に、大学が認める1年間の交換留学に出発する学生のうち、成績優秀者を大学が選抜。
AIUサキホコレ留学奨学金 (一時金)	250,000円／150,000円 (留学先の国に応じて、 上記のいずれかを支給)	当該学期の翌学期に、大学が認める1年間の交換留学に出発する学生のうち、国の高等教育修学支援新制度*もしくは本学独自授業料減免の適用を受けている者で、留学を目的とした奨学金の給付を受けていない者。 ※付随する日本学生支援機構(JASSO)奨学金(給付)適用対象外の者は除く
AIUアンバサダー奨励金 (一時金)	国内最大2万円 海外最大5万円	国内外で開催される国際会議または研究発表会に参加する学部学生、特別科目等履修生、大学院生(大学院生の場合は参加＋会議等での発表)で、参加について1名以上の教員から推薦を受けることができる場合、旅費、登録料等を一定額補助。
AIU秋田県出身学生奨学金 「わか杉奨学金」(学期)	100,000円／50,000円* [* 本学独自授業料減免適用者の場合]	2012年4月以降入学の秋田県出身学生のうち、本制度に申請し、大学が定めた期日までに授業料を納付した者。なお、審査は学期毎に行います。
AIU県外出身学生奨学金 「修学支援奨学金」(学期)	第1区分：100,000円 第2区分： 66,700円 第3区分： 33,400円 第4区分： 25,000円	2012年4月以降入学の秋田県出身の学部学生のうち、国の高等教育修学支援新制度の適用を受けている者*で、なおかつ本制度に申請し、大学が定めた期日までに授業料を納付した者。なお、審査は学期毎に行います。 ※付随する日本学生支援機構(JASSO)給付奨学金適用対象外の者は除く。
AIUふきのとう特別奨学金 (一時金)	20万円 (年度毎の採用・在学中、 隔年で2回まで受給可能)	毎年1月の申請時点で、授業料減免、各種給付型奨学金が不適用の学生が対象。本人の申請を受けて、家計状況や成績等を大学が総合的に勘案し、選抜。

日本学生支援機構(JASSO)奨学金 (給付・貸与)

給付型奨学金および貸与型奨学金を取り扱っています。貸与型には、無利子の第1種奨学金と、有利子(最大年利3%)の第2種奨学金があります。
月額額は、家計や通学方法によって異なります。JASSOのウェブサイト(<https://www.jasso.go.jp>)から、金額の詳細を確認してください。

地方公共団体・民間団体奨学金 (給付・貸与)

各都道府県・市町村などの地方自治体や民間団体などでは、独自の育英奨学事業が実施されており、入学後に大学事務局を通して申請できる奨学金があります。なお、募集対象、期間、給付・貸与などは支援団体によって異なります。

須田人財育成基金

この基金は、次世代社会を切り拓く科学技術に関する教育を充実させ、また、秋田県内への就職を促進して、地元科学技術産業の発展に長く貢献しうる人材を育成することを目的に創設されました。
学生が県内企業と行う地域の課題解決活動に対する補助金や、卒業後に県内で就職する学生に向けた、貸与型奨学金の返還支援などに活用されています。

沿革

History

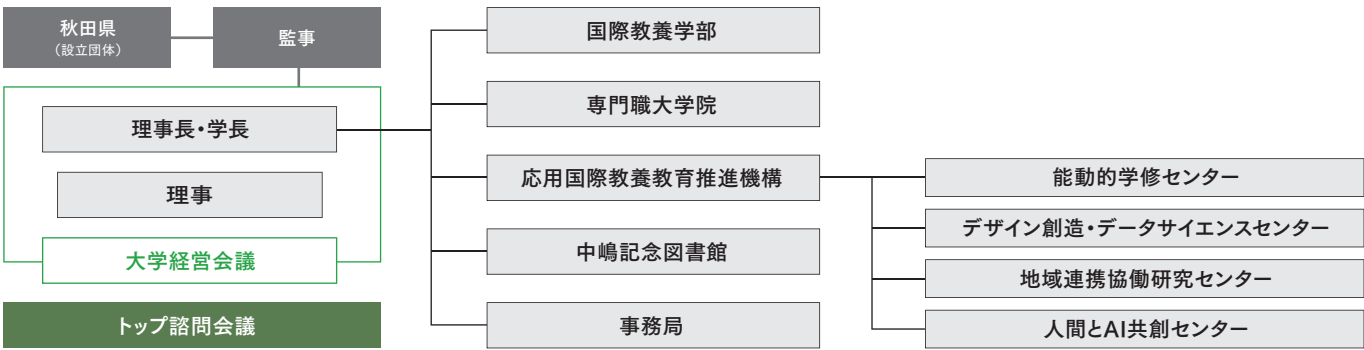
進化する国際教養大学—開学からの歩み

2004年 4 月	開学、初代理事長・学長 中嶋 嶺雄（～2013年2月）	2014年 9 月	文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」事業（グローバル化牽引型）に採択
2006年 4 月	学部入学定員を100名から130名に増員	2016年 9 月	国際教養教育推進機構設置
2008年 3 月	1期生が卒業、新図書館 国際教養大学図書館竣工	2021年 4 月	学科再編および新カリキュラム導入
2008年 9 月	専門職大学院「グローバル・コミュニケーション実践学科」設置	2021年 6 月	モンテ・カセム 理事長・学長就任
2011年 4 月	学部入学定員を150名から175名に増員	2022年 4 月	応用国際教養教育推進機構設置（国際教養教育推進機構とアジア地域研究連携機構を統合）
2011年11月	日本学術振興会「大学の世界展開力強化事業」に採択	開学20周年記念式典挙行	
2012年10月	文部科学省「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援」（旧グローバル人材育成推進）事業に採択		
2013年 6 月	鈴木 典比古 理事長・学長就任		
2013年 9 月	能動的学修支援センター（ALSC）設置 国際教養教育推進センター（CPILAE）設置		

ガバナンス

Governance

国際教養大学組織図



トップ諮問会議

委 員	明石 康	元国際連合事務次長／ 公益財団法人国立京都国際会館理事長
	大宅 映子	評論家／ 公益財団法人大宅社一文庫理事長
	佐藤 隆三	ニューヨーク大学大学院 C.V. スター財団冠講座名誉教授
	鈴木 典比古	広島県公立大学法人理事長
	須田 精一	YURIホールディングス株式会社 取締役会長
顧 問	橋本 五郎	読売新聞特別編集委員
	グレゴリー・クラーク	多摩大学名誉学長／評論家

大学経営会議

2026年4月1日現在

理 事 長	モンテ・カセム	国際教養大学学長
常務理事	磯貝 健	国際教養大学副学長
理 事	熊谷 嘉隆	国際教養大学副学長
	佐野 元彦	株式会社サノ・ホールディングス代表取締役 秋田商工会議所副会頭 一般社団法人 東北ニュービジネス協議会副会長
	大西 隆	一般財団法人国土計画協会会長 東京大学名誉教授・豊橋技術科学大学名誉教授 元豊橋技術科学大学学長 元日本学術会議会長
	荒木 由季子	元国立大学法人岡技術科学大学経営協議会委員 元ヒロセ電機株式会社社外取締役 富士製薬工業株式会社社外取締役 株式会社ナカニシ社外取締役 TOYO TIRE株式会社社外取締役
	嘉数 悠子	沖縄科学技術大学院大学評議員会評議員 沖縄科学技術大学院大学財団理事・教育アンバサダー TMT国際天文台・国立天文台教育普及マネージャー・サイエンティスト 米日カウンシル カウンシル・リーダー ハワイ島日系人商工会議所理事・教育委員会委員長
委 員	安田 浩幸	秋田県教育委員会教育長
監 事	中村 康二	国際教養大学事務局長兼企画戦略課長
	堀井 照重	公認会計士／税理士
	山崎 裕子	株式会社プログレスダイカスト秋田管理部部長

入試に関するイベントの情報など、大学の最新情報は
大学公式ウェブサイト・SNSでお知らせします。

大学公式ウェブサイト



<https://web.aiu.ac.jp/>

受験生応援サイト



<https://admission.aiu.ac.jp/>

公式SNSアカウント



国際教養大学
アドミッションズ・オフィス
@aiu_admission



国際教養大学／AIU
@akitainternationaluniversity



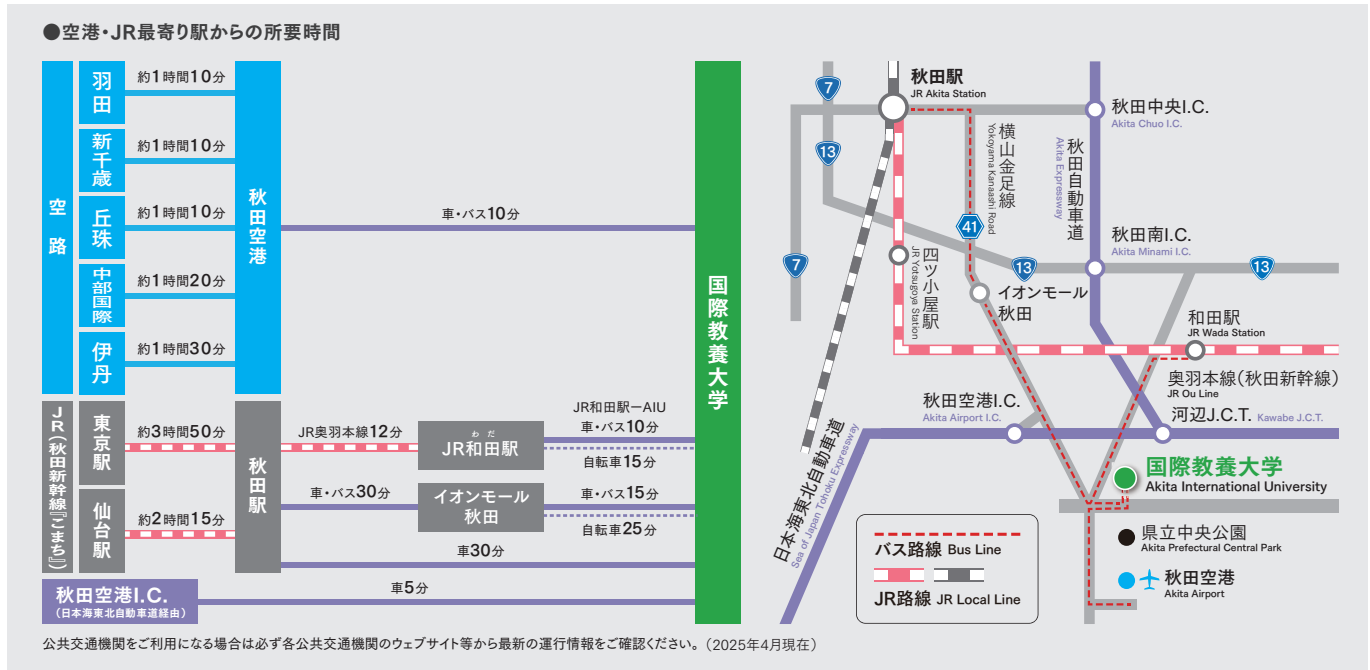
/@AkitaInternationalUniversity



国際教養大学/aiu
@AkitaInternationalUniversity



交通アクセス Access to the Campus



シンボル・マスコットキャラクター



国際教養大学シンボルマーク

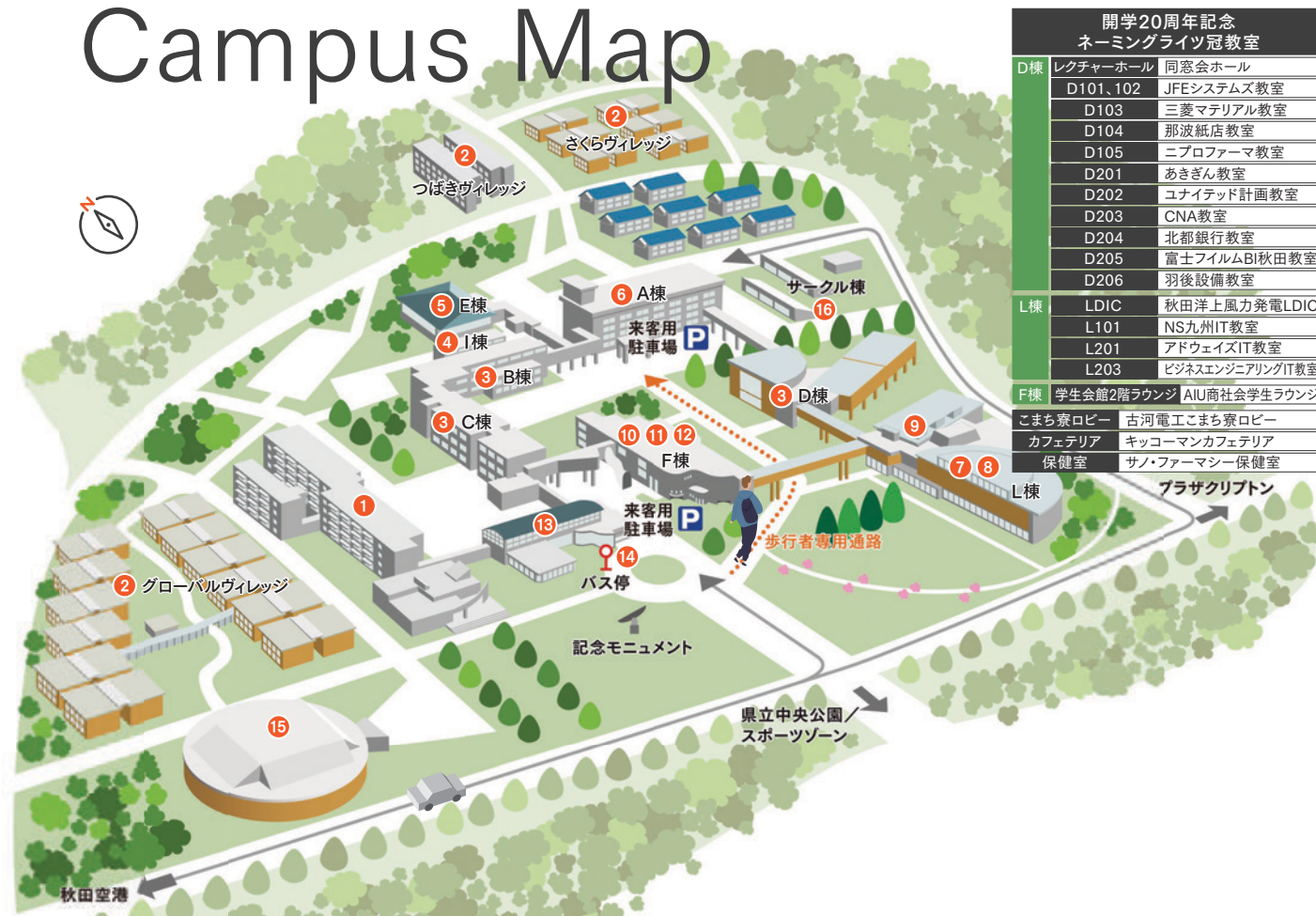
グローバルな国際性を表した緑の地球から、未来へのびる若杉の姿を秋田の“a”で表現。若杉の姿は“人”の文字をイメージし、世界に開かれたこの大学から育ち飛躍する、地域社会や国際社会に貢献する若々しい人材を表しています。



国際教養大学マスコットキャラクター

モチーフは秋田犬。名前の由来は「最先端、一番である。」ことと、犬の鳴き声の組み合わせです。

Campus Map



多くの学生が学び暮らす 機能的なキャンパス

24時間365日休むことなく機能する「学修・居住一体型キャンパス」です。講義や演習が行われる教室はもちろん、自主学修や学生活動をサポートする施設やサービスも充実。カフェテリアやカレッジカフェは食事をするだけでなく、学生同士や教職員との対話が弾む場となっています。



1 学生寮(こまち寮) ▶ P.52

新入生は全員この学生寮に入寮し、入学後の1年間、共同生活を行います。

2 学生宿舎 ▶ P.53

つばきヴィレッジ／さくらヴィレッジ／グローバルヴィレッジ
1年間の寮生活を終えた学生は、学内の学生宿舎で生活するか、学外の民間アパートや自宅から大学へ通学します。

3 講義棟(B・C・D棟)

3つの講義棟では、授業が行われるほか、D棟の同窓会ホール(レクチャーホール)は公開講座などにも使用されます。

4 学生イニシアティブセンター(I棟)

このセンターでは、教育連携活動としてイングリッシュビレッジ、ティーチャーズセミナーなどを開催しています。また、一般社団法人AIUアフタースクールが学童保育「AIU Kids」を運営しています。

5 保健室／カウンセリングルーム(E棟)

保健室では看護師が常駐し、体調がすぐれない時やけがをした時などの応急処置を行っています。また、カウンセリングルームでは常勤のカウンセラーがメンタルヘルスから学業、交友関係、自己理解の悩みまで、幅広く相談に応じています。

6 管理棟(A棟)

学長室、教員オフィス、事務局などがあります。

7 能動的学修センター(L棟) ▶ P.18

学生の自律学修をサポートする、言語異文化学修センターと学修達成センター、国内外への大学院進学をサポートするアカデミック・キャリア支援センター、数理的能力の強化を支援する超域学修ルームからなる複合施設です。

8 中嶋記念図書館(L棟) ▶ P.16

24時間365日開館の図書館では、8万冊を超える蔵書と豊富な電子リソースを取り揃えています。

9 IT Lab & L-LAB(L棟)

プログラミング・統計などの専門性が高いアプリが利用できるコンピュータルームや、3Dプリンタ・VR／ARデバイスなどを備えたラボなど3つの部屋があります。学生自身のPCから印刷できる通常のプリンタも備えられており、図書館と同様、24時間365日利用できます。なお、Wi-Fiはキャンパス全域で利用することができます。

10 学生会館(F棟)

学生活動の拠点となる施設で、レクリエーションスペース、ラーニングスペース、和室、カレッジカフェ、AIU Shop、就職支援を行うキャリア開発センター、海外大学との提携や学生の海外派遣・留学生の受入手続きなどを行う国際センターがあります。

11 AIU Shop(F棟)

お弁当・パン類、飲み物、菓子類や文房具、日用品まで、学生生活に必要なものが揃っています。また、大学グッズも販売しています。

12 カレッジカフェ(F棟)

軽食やコーヒーなどを楽しむことができるカフェスペースです。週替わりのランチメニューもあり、天気の良い日はオープンテラスを利用することもできます。

13 カフェテリア

明るく開放的で、食事のほか、催し物やパーティにも使われる交流の舞台です。

14 バス停

国際教養大学前のバス停からは、秋田市御所野地区にあるイオンモール秋田行きのバス路線を利用できます。多くの学生が、休み時間や放課後、休日を利用して買い物などを楽しんでいます。

15 Suda Hall (多目的ホール)

式典やコンサート、スポーツイベントなどに使われる施設です。トレーニングジムも設置されています。

16 Student Cabin (学生活動スペース)

先輩、後輩の垣根を超えて、互いに交流を深める場として設置され、多くの学生が利用しています。